

係	検 算	係 長	課長補佐	課 長	副部長	部 長

「週休2日制モデル工事」対象

令和 6 年度 第 号

仁ノ地区排水路整備工事（その7） 見積参考資料

・「見積参考資料」は入札参加者の迅速で適正な工事費の見積りのための一資料であり、請負契約を拘束するものではない。
 ・入札においては「見積参考資料」に記載された事項を最優先するものとし、その他の閲覧資料との表示に違いがある場合においても、入札の公正性が確保される範囲で入札事務を継続するものとする。
 ・「見積参考資料」に記載されている積算に関する事項については、契約後、必要に応じて建設工事請負契約書の規定に基づき、協議を行う場合がある。

工事場所 高知市 春野町仁ノ

工事日数

日

着工 令和 年 月 日
 完成 令和8年3月15日

耕地課

設計金額		円	工事の概要 別紙のとおり
内 訳	工 事 費	円	
	消費税及び 地方消費税 相当額	円	
工事請負対象金額		円	工事施工理由 本工事は、仁淀川河口左岸に展開する低平農業地帯である春野町仁ノ地区の湛水被害を軽減するため排水路整備を行うものである。
消費税及び地方消費税相当額抜きの 工事請負対象金額		円	
摘 要			

別 紙

工事の概要

水路1-4-1	施工延長	L=328.8m		
ブロック積工				
コンクリートブロック工	(A=1,704m ²)	L=	632.8	m
カルバート工				
場所打函渠工	(B=4,100mm×H=1,800mm)	L=	6.4	m
プレキャストカルバート工	(B=2,500mm×H=1,100mm)	L=	4.8	m
サイホン工				
集水塔工			1	式
擁壁工				
場所打擁壁工	(V=25m ³)	L=	23.2	m
舗装工				
アスファルト舗装工	(t=5cm)	A=	44.0	m ²
路盤工	(t=20cm)	A=	22.0	m ²
仮設工				
仮締切工	(Ⅲ型, L=8.5m)	N=	27	枚

新設水路	施工延長	L=143.8m			
ブロック積工					
	コンクリートブロック工	(A=894m ²)	L=	274.3	m
カルバート工					
	場所打函渠工	(B=4,600mm×H=1,800mm)	L=	5.5	m
水路橋工					
	現場打水路工	(W=550mm)	L=	9.2	m
擁壁工					
	場所打擁壁工	(V=3m ³)	L=	5.2	m
舗装工					
	アスファルト舗装工	(t=5cm)	A=	60	m ²
	路盤工	(t=20cm)	A=	53	m ²
仮設工					
	仮締切工	(Ⅲ型, L=8.5m)	N=	697	枚

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
土地改良工事					
仁ノ地区排水路整備工事(その7)					
水路1-4-1					
土工					
掘削工	式	1			明細表 第1号
路体盛土工	式	1			明細表 第2号
路床盛土工	式	1			明細表 第3号
埋戻工	式	1			明細表 第4号
残土処理・搬入土工	式	1			明細表 第5号

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ブロック積工					
2号ブロック積工	式	1			明細表 第6号
3号ブロック積工	式	1			明細表 第7号
足場工	式	1			明細表 第8号
カルポート工					
1号函渠工	式	1			明細表 第9号
2号函渠工	式	1			明細表 第10号
サレ工					
集水塔工	式	1			明細表 第11号
1号水路橋工	式	1			明細表 第12号

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
擁壁工					
2号重力式擁壁工	式	1			明細表 第13号
3号重力式擁壁工	式	1			明細表 第14号
排水構造物工					
底張工	式	1			明細表 第15号
取合わせ水路	式	1			明細表 第16号
付帯工					
既設構造物取壊し工	式	1			明細表 第17号
舗装復旧工	式	1			明細表 第18号
仮設工					

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仮締切工	式	1			明細表 第19号
仮排水工	式	1			明細表 第20号
工事用道路工	式	1			明細表 第21号
新設水路					
土工					
掘削工	式	1			明細表 第22号
路体盛土工	式	1			明細表 第23号
埋戻工	式	1			明細表 第24号
残土処理・搬入土工	式	1			明細表 第25号
ブロック積工					

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
2号ﾌﾟｯｸ積工	式	1			明細表 第26号
3号ﾌﾟｯｸ積工	式	1			明細表 第27号
足場工	式	1			明細表 第28号
小口止め工	式	1			明細表 第29号
ｶﾙﾊﾞｰﾄ工					
1号函渠工	式	1			明細表 第30号
水路橋工					
現場打水路工	式	1			明細表 第31号
擁壁工					
2号重力式擁壁工	式	1			明細表 第32号

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
排水構造物工					
底張工	式	1			明細表 第33号
付帯工					
道路施設撤去・復旧工	式	1			明細表 第34号
既設構造物取壊し工	式	1			明細表 第35号
舗装復旧工	式	1			明細表 第36号
仮設工					
仮締切工	式	1			明細表 第37号
仮排水工	式	1			明細表 第38号
交通管理工	式	1			明細表 第39号

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接工事費計					
共通仮設費積上分					
運搬費					
	式	1			
重建設機械分解組立輸送費					明細表 第40号
	式	1			
仮設材運搬費					明細表 第41号
	式	1			
役務費					
	式	1			
電力基本料金					明細表 第42号
	式	1			
技術管理費					
	式	1			
地質調査費					明細表 第43号
	式	1			
共通仮設費率分					
	式	1			

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
	式	1			
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					
	式	1			
工事価格					
消費税等相当額					
請負工事費					

明細表 第 2号
路体盛土工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
路体(築堤)盛土 2.5m未満	m3	430			施工P 第 4 号
1 式 当り					

明細表 第 4号
埋戻工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
埋戻し 最大埋戻幅4m以上	m3	150			施工P 第 6 号
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	280			施工P 第 7 号
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	m3	320			施工P 第 8 号
1 式 当り					

明細表 第 5号
残土処理・搬入土工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬 標準,バツク山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),DID区間無し,1.0km以下	m3	4,400			施工P 第9号
積込(ルース) 土砂,土量50,000m3未満	m3	4,400			施工P 第10号
土砂等運搬 標準,バツク山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),DID区間無し,1.5km以下	m3	4,400			施工P 第11号
残土処分費 ネクスリーはるの(株),高知市春野町西畑	m3	4,400			処分費
再生砕石 RC-40	m3	930			
搬入土 良質土	m3	480			単価表 第1号
1 式 当り					

明細表 第 6号
2号ﾌﾞﾛｯｸ積工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
大型ﾌﾞﾛｯｸ積 2,000kg/個以下,水抜きﾊﾞｲﾌﾞ無し	m ²	403			施工P 第 12 号
胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ 大型ﾌﾞﾛｯｸ,2,000kg/個以下,18-8-40(高炉)W/C=60%以下,小型車加算無し	m ³	102			施工P 第 13 号
胴込・裏込材(砕石) 大型ﾌﾞﾛｯｸ,再生ｸﾗｯｼﾞｬﾝ RC-40	m ³	157			施工P 第 14 号
目地材 厚10mm 瀝青質板	m ²	26			
ﾌﾞﾚｷﾞｽﾄ基礎ﾌﾞﾛｯｸ(ﾌﾞﾛｯｸ材料費除く)	m	116			施工P 第 15 号
大型ﾌﾞﾛｯｸ基礎盤(底面勾配なし) 5分勾配用 控50cm用 L=2500mm ﾌﾞﾄﾞﾗｰII用同等品	個	47			
ｺﾝｸﾘｰﾄ 小型構造物,ﾊﾞｯｸﾌｯｸ(ｸﾚﾝ機能付)打設,18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下,養生工無し,しなない<標準>(全ての費用),小型車加算無し	m ³	3			施工P 第 16 号
目地板 30m2以上,瀝青質目地板t=10	m ²	1			施工P 第 17 号
ﾏｯﾄﾚｽ基礎 B1400×H400,材工共	m	116			
1 式 当り					

明細表 第 7号
3号ﾌﾞﾛｯｸ積工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
大型ﾌﾞﾛｯｸ積 2,000kg/個以下,水抜きﾊﾞｲﾌﾞ無し	m ²	1,301			施工P 第12号
胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ 大型ﾌﾞﾛｯｸ,2,000kg/個以下,18-8-40(高炉)W/C=60%以下,小型車加算無し	m ³	328			施工P 第13号
胴込・裏込材(砕石) 大型ﾌﾞﾛｯｸ,再生ｸﾗｯｼﾞｬﾝ RC-40	m ³	457			施工P 第14号
目地材 厚10mm 瀝青質板	m ²	63			
ﾌﾞﾚｷﾞｽﾄ基礎ﾌﾞﾛｯｸ(ﾌﾞﾛｯｸ材料費除く)	m	520			施工P 第15号
大型ﾌﾞﾛｯｸ基礎盤(底面勾配なし) 5分勾配用 控50cm用 L=2500mm ﾌﾞﾝﾄﾞﾗｰII用同等品	個	208			
ｺﾝｸﾘｰﾄ 小型構造物,ﾊﾞｯｸﾌｯｸ(ｸﾚﾝ機能付)打設,18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下,養生工無し,しなない<標準>(全ての費用),小型車加算無し	m ³	13			施工P 第16号
目地板 30m2以上,瀝青質目地板t=10	m ²	5			施工P 第17号
ﾏｯﾄﾞﾚｽ基礎 B1400×H400,材工共	m	517			
ﾏｯﾄﾞﾚｽ基礎 B1700×H600,材工共	m	4			

明細表 第 9号
1号函渠工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
置換基礎	m ³	46			単価表 第 3 号
コンクリート 無筋・鉄筋構造物,パック材(クレーン機能付)打設, C=170kg/m ³ (高炉),養生工無し, しない<標準>(全ての費用),小型車加算無し	m ³	3			施工P 第 19 号
型枠 一般型枠,均しコンクリート	m ²	2			施工P 第 20 号
コンクリート(場所打函渠) 24-12-25(20)(高炉)W/C=55%以下,一般養生,圧送管延長無し,小型車加算無し	m ³	37			施工P 第 21 号
鉄筋工 SD345 D13,一般構造物,10t未満,週休2日補正:現場閉所(通期)	t	1.23			単価表 第 4 号
鉄筋工 SD345 D16~D25,一般構造物,10t未満,週休2日補正:現場閉所(通期)	t	2.90			単価表 第 5 号
型枠 一般型枠,鉄筋・無筋構造物	m ²	95			施工P 第 22 号
足場工 手摺先行型枠組足場	掛m ²	80			単価表 第 6 号
支保工 ハイパースト支保, f≤40kN/m ²	空m ³	50			単価表 第 7 号
護岸コンクリート(1-4-1・1号函渠)	m	13			単価表 第 8 号

明細表 第 10号
2号函渠工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
プレキャストボックスカルバート	式	1			単価表 第 13 号
地覆	m	6			単価表 第 14 号
土留コンクリート(1-4-1・2号函渠)	箇所	1			単価表 第 15 号
自由勾配側溝	m	3			単価表 第 16 号
箱抜き しない<標準>(全ての費用)	m	1			施工P 第 33 号
横断・転落防止柵設置工 コンクリート建込 ,ヒール式 ,支柱間隔3m ,H=1,100 センタータイプ* メッキ ,週休2日補正:現場 閉所(通期)	m	7			単価表 第 12 号
1 式 当り					

明細表 第 11号
集水塔工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
組立式角形マンホール 1500×1500	式	1			単価表 第 19 号
中詰土	m3	6			単価表 第 21 号
1 式 当り					

明細表 第 12号
1号水路橋工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
1号水路橋	式	1			単価表 第 22 号
1 式 当り					

明細表 第 14号
3号重力式擁壁工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
重力式擁壁 平均高さ2m以上5m以下，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，基礎碎石無し，均しコンクリート無し，一般養生，圧送管延長無し，小型車加算無し，一般型枠	m3	16			施工P 第 39 号
マットレス基礎 B2700×H400, 材工共	m	5			
1 式 当り					

明細表 第 16号
取合わせ水路

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
取合わせ水路	m	4			単価表 第 24 号
1 式 当り					

明細表 第 17号
 既設構造物取壊し工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断 アスファルト舗装版,15cm以下,しない<標準>(全ての費用)	m	14			施工P 第 41 号
舗装版破碎積込(小規模土工) しない<標準>(全ての費用)	m ²	44			施工P 第 42 号
殻運搬 舗装版破碎,機械積込(小規模土工),DID区間無し,5.5km以下,しない<標準>(全ての費用)	m ³	2			施工P 第 43 号
処分料 再生プラント(As) 再生AS-4	m ³	2			処分費
構造物とりこわし 無筋構造物,機械施工,週休2日補正:現場閉所(通期)	m ³	41			単価表 第 25 号
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし,機械積込,DID区間無し,10.9km以下,しない<標準>(全ての費用)	m ³	41			施工P 第 44 号
処分料 再資源化施設(無筋コンクリート) 再生骨材-2	m ³	41			処分費
構造物とりこわし 鉄筋構造物,機械施工,週休2日補正:現場閉所(通期)	m ³	6			単価表 第 26 号
殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,DID区間無し,10.9km以下,しない<標準>(全ての費用)	m ³	6			施工P 第 45 号
処分料 再資源化施設(鉄筋コンクリート) 再生骨材-2	m ³	6			処分費

明細表 第 18号
舗装復旧工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下,30mm,再生密粒度アスコン(13),瀝青材料無し,しな い<標準>(全ての費用),小型車加算有り,夜間割増無し,溶融スラグ無し	m ²	22			施工P 第46号
舗装版破碎積込(小規模土工) しな<標準>(全ての費用)	m ²	22			施工P 第42号
殻運搬 舗装版破碎,機械積込(小規模土工),DID区間無し,5.5km以下,しな<標準 >(全ての費用)	m ³	0.7			施工P 第43号
処分料 再生プラント(As) 再生AS-4	m ³	0.7			処分費
上層路盤(歩道部) 200mm,2層施工,再生粒度調整砕石 RM-30,しな<標準>(全ての費用)	m ²	22			施工P 第47号
不陸整正(W=1.4m以上3.0m以下) 補足材平均厚さ 29mm以上34mm未満 RM-30	m ²	22			
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下,50mm,再生密粒度アスコン(13),プライムコート PK-3,しな い<標準>(全ての費用),小型車加算有り,夜間割増無し,溶融スラグ無し	m ²	44			施工P 第48号
1 式 当り					

明細表 第 19号
仮締切工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鋼矢板打込 陸上施工，Ⅲ型，電動式60kW，打込み長9m以下，継施工なし	枚	27			単価表 第 27 号
鋼矢板引抜(油圧圧入引抜機) 陸上，Ⅲ型，引抜長9m以下	枚	27			単価表 第 28 号
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 引抜き，陸上，Ⅲ型	回	1			単価表 第 29 号
鋼矢板賃料(枚当り) 本矢板Ⅲ型，L=8.5 m，供用日数247 日，修理費及び損耗費あり，1 回使用，補助 工法なし	枚	27			単価表 第 30 号
大型土のう製作・設置・撤去 製作・設置，流用土，耐候性(φ110 H=110cm)短期仮設対応(1年)，6m以下	袋	10			単価表 第 32 号
大型土のう製作・設置・撤去 撤去，6m以下	袋	10			単価表 第 33 号
1 式 当り					

明細表 第 20号
仮排水工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ポンプ設置・撤去	箇所	2			単価表 第 34 号
排水ポンプ運転 排水量120m ³ /h以上450m ³ /h未満, 常時排水	日	78			単価表 第 35 号
排水ポンプ運転 商用電源, 排水量450m ³ /h以上1300m ³ /h未満, 常時排水	日	234			単価表 第 36 号
1 式 当り					

明細表 第 21号
工事用道路工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
敷鉄板設置・撤去 設置・撤去	㎡	1,041			単価表 第 37 号
敷鉄板賃料(枚当り) 25×1524×6096 , 賃料計上 , 供用日数246 日, 整備費あり	枚	112			単価表 第 39 号
大型土のう製作・設置・撤去 製作・設置 , 流用土 , 耐候性 (φ 110 H=110cm)短期仮設対応(1年) , 6m以下	袋	63			単価表 第 32 号
大型土のう製作・設置・撤去 撤去 , 6m以下	袋	63			単価表 第 33 号
暗渠排水管 掘付・撤去, 波状管, 200~400mm	m	28			
1 式 当り					

明細表 第 23号
路体盛土工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
路体(築堤)盛土 2.5m未満	m3	28			施工P 第4号
1 式 当り					

明細表 第 24号
埋戻工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	270			施工P 第 7 号
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	m3	650			施工P 第 8 号
1 式 当り					

明細表 第 25号
残土処理・搬入土工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬 標準,バツク山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),DID区間無し,1.0km以下	m3	3,500			施工P 第9号
積込(ルース) 土砂,土量50,000m3未満	m3	3,500			施工P 第10号
土砂等運搬 標準,バツク山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),DID区間無し,1.5km以下	m3	3,500			施工P 第11号
残土処分費 ネストリーはるの(株),高知市春野町西畑	m3	3,500			処分費
再生砕石 RC-40	m3	1,100			
搬入土 良質土	m3	31			単価表 第1号
1 式 当り					

明細表 第 26号
2号ﾌﾞﾛｯｸ積工

明細表

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	摘要
大型ﾌﾞﾛｯｸ積 2,000kg/個以下,水抜きﾊﾞｲﾌﾞ無し	m ²	254			施工P 第12号
胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ 大型ﾌﾞﾛｯｸ,2,000kg/個以下,18-8-40(高炉)W/C=60%以下,小型車加算無し	m ³	64			施工P 第13号
胴込・裏込材(砕石) 大型ﾌﾞﾛｯｸ,再生ｸﾗｯｼﾞｬﾝ RC-40	m ³	99			施工P 第14号
目地材 厚10mm 瀝青質板	m ²	24			
ﾌﾞﾚｷﾞｽﾄ基礎ﾌﾞﾛｯｸ(ﾌﾞﾛｯｸ材料費除く)	m	75			施工P 第15号
大型ﾌﾞﾛｯｸ基礎盤(底面勾配なし) 5分勾配用 控50cm用 L=2500mm ﾌﾞﾝﾄﾞﾗｰII用同等品	個	30			
ｺﾝｸﾘｰﾄ 小型構造物,ﾊﾞｯｸﾌｯｸ(ｸﾚﾝ機能付)打設,18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下,養生工無し,しなない<標準>(全ての費用),小型車加算無し	m ³	2			施工P 第16号
目地板 30m2以上,瀝青質目地板t=10	m ²	0.8			施工P 第17号
ﾏｯﾄﾚｽ基礎 B1400×H400,材工共	m	74			
ﾏｯﾄﾚｽ基礎 B2000×H700,材工共	m	1			

明細表 第 27号
3号ﾌﾞﾛｯｸ積工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
大型ﾌﾞﾛｯｸ積 2,000kg/個以下,水抜きﾊﾞｲﾌﾞ無し	m ²	640			施工P 第 12 号
胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ 大型ﾌﾞﾛｯｸ,2,000kg/個以下,18-8-40(高炉)W/C=60%以下,小型車加算無し	m ³	161			施工P 第 13 号
胴込・裏込材(砕石) 大型ﾌﾞﾛｯｸ,再生ｸﾗｯｼﾞｬﾝ RC-40	m ³	241			施工P 第 14 号
目地材 厚10mm 瀝青質板	m ²	31			
ﾌﾞﾚｷﾞｽﾄ基礎ﾌﾞﾛｯｸ(ﾌﾞﾛｯｸ材料費除く)	m	204			施工P 第 15 号
大型ﾌﾞﾛｯｸ基礎盤(底面勾配なし) 5分勾配用 控50cm用 L=2500mm ﾌﾞﾝﾄﾞﾗｰII用同等品	個	82			
ｺﾝｸﾘｰﾄ 小型構造物,ﾊﾞｯｸﾌｯｸ(ｸﾚﾝ機能付)打設,18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下,養生工無し,しなない<標準>(全ての費用),小型車加算無し	m ³	5			施工P 第 16 号
目地板 30m2以上,瀝青質目地板t=10	m ²	2			施工P 第 17 号
ﾏｯﾄﾞﾚｽ基礎 B1400×H400,材工共	m	204			
ﾏｯﾄﾞﾚｽ基礎 B2000×H700,材工共	m	1			

明細表 第 30号
1号函渠工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
基礎碎石 17.5cmを超え20.0cm以下 ,再生クワッシュン RC-40 , しない<標準>(全ての費用)	m ²	32			施工P 第 38 号
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 ,バックホ(クレーン機能付) 打設 ,C=170kg/m3(高炉) ,養生工無し , しない<標準>(全ての費用) ,小型車加算無し	m ³	3			施工P 第 19 号
型枠 一般型枠 ,均しコンクリート	m ²	2			施工P 第 20 号
コンクリート(場所打函渠) 24-12-25(20)(高炉)W/C=55%以下 ,一般養生 ,圧送管延長無し ,小型車加算無し	m ³	33			施工P 第 21 号
鉄筋工 SD345 D13 ,一般構造物 ,10t未満 ,週休2日補正:現場閉所(通期)	t	1.10			単価表 第 4 号
鉄筋工 SD345 D16~D25 ,一般構造物 ,10t未満 ,週休2日補正:現場閉所(通期)	t	1.99			単価表 第 5 号
型枠 一般型枠 ,鉄筋・無筋構造物	m ²	85			施工P 第 22 号
足場工 手摺先行型枠組足場	掛m ²	80			単価表 第 6 号
支保工 ハイパボート支保 , f ≤ 40kN/m ²	空m ³	50			単価表 第 7 号
護岸コンクリート(新設水路・1号函渠)	m	11			単価表 第 41 号

明細表 第 31号
現場打水路工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
2号水路橋	式	1			単価表 第 43 号
6号U型水路	m	3			単価表 第 44 号
1 式 当り					

明細表 第 36号
舗装復旧工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下,30mm,再生密粒度アスコン(13),瀝青材料無し,しな い<標準>(全ての費用),小型車加算有り,夜間割増無し,溶融スラグ無し	m ²	53			施工P 第46号
舗装版破碎積込(小規模土工) しな<標準>(全ての費用)	m ²	53			施工P 第42号
殻運搬 舗装版破碎,機械積込(小規模土工),DID区間無し,5.5km以下,しな<標準 >(全ての費用)	m ³	2			施工P 第43号
処分料 再生プラント(As) 再生AS-4	m ³	2			処分費
上層路盤(歩道部) 200mm,2層施工,再生粒度調整砕石 RM-30,しな<標準>(全ての費用)	m ²	53			施工P 第47号
不陸整正(W=1.4m以上3.0m以下) 補足材平均厚さ 29mm以上34mm未満 RM-30	m ²	7			
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下,50mm,再生密粒度アスコン(13),プライムコート PK-3,しな い<標準>(全ての費用),小型車加算有り,夜間割増無し,溶融スラグ無し	m ²	60			施工P 第48号
1 式 当り					

明細表 第 37号
仮締切工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鋼矢板打込 陸上施工，Ⅲ型，電動式60kW，打込み長9m以下，継施工なし	枚	697			単価表 第 27 号
鋼矢板引抜(油圧式入引抜機) 陸上，Ⅲ型，引抜長9m以下	枚	697			単価表 第 28 号
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 引抜き，陸上，Ⅲ型	回	1			単価表 第 29 号
鋼矢板賃料(枚当り) 本矢板Ⅲ型，L=8.5 m，供用日数188 日，修理費及び損耗費あり，1 回使用，補助 工法なし	枚	697			単価表 第 47 号
大型土のう製作・設置・撤去 設置，6m以下	袋	15			単価表 第 49 号
大型土のう製作・設置・撤去 撤去，6m以下	袋	15			単価表 第 33 号
伐採木・土のう袋等運搬 往復運搬距離L=18.0 km，2t積級	台	1			単価表 第 50 号
処分料 廃プラスチック 廃ラ-6	m3	0.5			処分費
暗渠排水管 据付・撤去，波状管及び網状管，450～600mm，継手材料要，しない<標準>(全ての費用)	m	56			施工P 第 51 号
1 式 当り					

明細表 第 38号
仮排水工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ポンプ設置・撤去	箇所	1			単価表 第 34 号
排水ポンプ運転 商用電源,排水量450m ³ /h以上1300m ³ /h未満,常時排水	日	149			単価表 第 36 号
暗渠排水管 据付,波状管及び網状管,50~150mm,継手材料要,しない<標準>(全ての費用)	m	964			施工P 第 52 号
低圧受電設備 50kw以下,材工共 設置,撤去	箇所	1			
低圧電線線路 材工共 設置,撤去	m	30			
低圧電動機設備 材工共,5回路 設置,撤去	面	1			
ころがし配線 材工共 設置,撤去	m	10			
1 式 当り					

明細表 第 40号
 重建設機械分解組立輸送費

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
重建設機械分解組立輸送 <small>クレーン系, 35t吊を超え80t吊以下, 分解組立, 往復</small>	回	1			単価表 第 53 号
1 式 当り					

単価表 第 2号

足場工

単価表

(100)

金額：

内容：単管傾斜足場

1 掛m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正：現場閉所(通期)	人	1.5			[1]
とび工 週休2日補正：現場閉所(通期)	人	4.5			[1]
普通作業員 週休2日補正：現場閉所(通期)	人	2.7			[1]
ラフテレーンクレーン(市場価格) 油圧伸縮ジブ型 25t吊 ホベレータ付き 週休2日補正：現場閉所(通期)	日	0.8			[1]
諸雑費 33 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(100	掛m ² 当り)
	(1	掛m ² 当り)
*** 施工条件 *** 工法 : 単管傾斜足場 安全ネットの有無 : 安全ネットなし					

単価表 第 4号

鉄筋工

単価表

(1)

金額：

内容：SD345 D13 , 一般構造物 , 10t未満 , 週休2日補正:現場閉所(通期)

1 t 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鉄筋工(市場単価) 一般構造物	t	1.0			
異形棒鋼 D13 SD345	t	1.03			
諸雑費	式	1			
	(1	t 当り)
*** 施工条件 *** 材料費(規格・径) : SD345 D13 市場単価(規格・仕様) : 一般構造物					
市場単価(施工規模)全規格・径の合計 : 10t未満 市場単価(時間的制約) : 時間的制約:無 市場単価(作業時間帯) : 標準					
市場単価(トン内作業) : トン内作業なし 市場単価(法面作業) : 法面作業なし 市場単価(太径鉄筋の割合) : 太径鉄筋10%未満					
市場単価(構造物種別) : 一般構造物 週休2日補正(標準の市場単価のみ) : 週休2日補正:現場閉所(通期)					

単価表 第 5号

鉄筋工

単価表

(1)

金額 :

内容 : SD345 D16~D25 , 一般構造物 , 10t未満 , 週休2日補正:現場閉所(通期)

1 t 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鉄筋工(市場単価) 一般構造物	t	1.0			
異形棒鋼 D16~25 SD345	t	1.03			
諸雑費	式	1			
	(1	t 当り)
*** 施工条件 *** 材料費(規格・径) : SD345 D16~D25 市場単価(規格・仕様) : 一般構造物					
市場単価(施工規模)全規格・径の合計 : 10t未満 市場単価(時間的制約) : 時間的制約:無 市場単価(作業時間帯) : 標準					
市場単価(トン内作業) : トン内作業なし 市場単価(法面作業) : 法面作業なし 市場単価(太径鉄筋の割合) : 太径鉄筋10%未満					
市場単価(構造物種別) : 一般構造物 週休2日補正(標準の市場単価のみ) : 週休2日補正:現場閉所(通期)					

単価表 第 6号

足場工

単価表

(100)

金額：

内容：手摺先行型枠組足場

1 掛m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	1.6			[1]
とび工 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	7			[1]
普通作業員 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	1.3			[1]
ラフテレーンクレーン(市場価格) 油圧伸縮ジブ型 25t吊 ホベレタ付き 週休2日補正:現場閉所(通期)	日	1.4			[1]
諸雑費 34 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(100	掛m ² 当り)
	(1	掛m ² 当り)
*** 施工条件 *** 工法 : 手摺先行型枠組足場 安全ネットの有無 : 安全ネットなし					

単価表 第 7号

支保工

単価表

(100)

金額:

内容: パイポット支保, $f \leq 40\text{kN/m}^2$

1 空m3 当り

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	2.6			[1]
型わく工 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	4.7			[1]
とび工 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	2.2			[1]
普通作業員 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	5.1			[1]
諸雑費 15 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(100	空m3 当り)
	(1	空m3 当り)
*** 施工条件 *** 工法 : パイポット支保 総設置数量 : 40空m3を超える 支保耐力 : $f \leq 40\text{kN/m}^2$					

単価表 第 8号

護岸コンクリート(1-4-1・1号函渠)

単価表

(1)

金額：

内容：

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
重力式擁壁 平均高さ1mを超え2m未満，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，基礎碎石無し，均しコンクリート無し，一般養生，圧送管延長無し，小型車加算無し，一般型枠	m3	0.618			施工P 第 23 号
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)

単価表 第 9号

土留コンクリート(1-4-1・1号函渠右岸)

単価表

(1)

金額：

内容：

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物，バックホ(クレーン機能付)打設，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，一般養生，しない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	0.432			施工P 第 24 号
型枠 一般型枠，小型構造物	m ²	2.640			施工P 第 25 号
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ200mm以上400mm以下	孔	2			施工P 第 26 号
鉄筋工 SD345 D13，一般構造物，10t未満，差筋及び杭頭処理，週休2日補正:現場閉所(通期)	t	0.001			単価表 第 10 号
諸雑費	式	1			
	(1	箇所 当り)

単価表 第 10号

鉄筋工

単価表

(1)

金額 :

内容 : SD345 D13 , 一般構造物 , 10t未満 , 差筋及び杭頭処理 , 週休2日補正:現場閉所(通期)

1 t 当り

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工(市場単価) 一般構造物	t	1.0			
異形棒鋼 D13 SD345	t	1.03			
諸雑費	式	1			
	(1	t 当り)
*** 施工条件 *** 材料費(規格・径) : SD345 D13 市場単価(規格・仕様) : 一般構造物					
市場単価(施工規模)全規格・径の合計 : 10t未満 市場単価(時間的制約) : 時間的制約:無 市場単価(作業時間帯) : 標準					
市場単価(トン内作業) : トン内作業なし 市場単価(法面作業) : 法面作業なし 市場単価(太径鉄筋の割合) : 太径鉄筋10%未満					
市場単価(構造物種別) : 差筋及び杭頭処理 週休2日補正(標準の市場単価のみ) : 週休2日補正:現場閉所(通期)					

単価表 第 11号

土留コンクリート(1-4-1・1号函渠左岸)

単価表

(1)

金額：

内容：

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物，人力打設，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，一般養生，現場内小運搬 無し，しなない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	0.216			施工P 第 27 号
型枠 一般型枠，小型構造物	m ²	1.440			施工P 第 25 号
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ200mm以上400mm以下	孔	2			施工P 第 26 号
鉄筋工 SD345 D13，一般構造物，10t未満，差筋及び杭頭処理，週休2日補正：現場閉所 (通期)	t	0.001			単価表 第 10 号
諸雑費	式	1			
	(1	箇所 当り)

単価表 第 12号

横断・転落防止柵設置工

単価表

(1)

金額：

内容：コンクリート建込，ビーム式，支柱間隔3m，H=1,100 センタータイプ[°] メッキ，週休2日補正：現場閉所(通期)

1 m 当り

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	摘要
横断・転落防止柵設置工(市場単価) コンクリート建込 ビーム式・ハネ式 支柱間隔3m	m	1			
転落防止柵(構造物用) @3mH=1.10m [°] イ [°] 4本 センタータイプ [°] メッキ	m	1			
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)
*** 施工条件 ***					
施工区分	: コンクリート建込				
防護柵の種類	: ビーム式				
支柱間隔	: 支柱間隔3m				
材料区分	: H=1,100 センタータイプ [°] メッキ				
施工規模	: 100m以上				
時間的制約の有無	: 時間的制約:無				
作業時間帯	: 標準				
週休2日補正(標準の市場単価のみ)	: 週休2日補正:現場閉所(通期)				

単価表 第 13号

プレキャストボックスカルバート

単価表

(1)

金額：

内容：

1 式 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ボックスカルバート 据付, 2.0m/個, 0<B≤1.25 1.25<H≤2.5, 基礎材無し, 縦締め有り, 標準, しない<標準>(全ての費用)	m	4.8			施工P 第 29 号
コンクリート 無筋・鉄筋構造物, バックホ(クレーン機能付)打設, 18-8-40(高炉)W/C=60%以下, 一般養生, しない<標準>(全ての費用), 小型車加算無し	m ³	2.9			施工P 第 30 号
型枠 一般型枠, 鉄筋・無筋構造物	m ²	1.9			施工P 第 22 号
基礎砕石 22.5cmを超え27.5cm以下, 再生クラッシュラン RC-40, しない<標準>(全ての費用)	m ²	14.7			施工P 第 31 号
PC鋼より線 φ12.7mm L=6.0m	本	4			
定着金具 アンカークリップ・アンカープレート	組	8			
諸雑費	式	1			
	(1	式 当り)

単価表 第 14号

地覆

単価表

(1)

金額：

内容：

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物 , パック材(クレーン機能付)打設 , 18-8-40(高炉)W/C=60%以下 , 一般養生 , しない<標準>(全ての費用) , 小型車加算無し	m ³	0.070			施工P 第 24 号
型枠 一般型枠 , 鉄筋・無筋構造物	m ²	0.700			施工P 第 22 号
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	孔	2			施工P 第 32 号
鉄筋工 SD345 D13 , 一般構造物 , 10t未満 , 週休2日補正:現場閉所(通期)	t	0.001			単価表 第 4 号
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)

単価表 第 15号

土留コンクリート(1-4-1・2号函渠)

単価表

(1)

金額：

内容：

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物，バックホ(クレーン機能付)打設，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，一般養生，しない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	0.360			施工P 第 24 号
型枠 一般型枠，小型構造物	m ²	3.960			施工P 第 25 号
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	孔	3			施工P 第 32 号
鉄筋工 SD345 D13，一般構造物，10t未満，差筋及び杭頭処理，週休2日補正:現場閉所(通期)	t	0.001			単価表 第 10 号
諸雑費	式	1			
	(1	箇所 当り)

単価表 第 16号

自由勾配側溝

単価表

(10)

金額：

内容：

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
自由勾配側溝 標準 B400-H800-L2000 ,基礎碎石あり ,再生碎石 RC-40 ,18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下 ,週休2日補正:現場閉所(通期)	m	10			単価表 第 17 号
蓋版 掘付 ,40を超え170kg/枚以下 ,週休2日補正:現場閉所(通期)	枚	19			単価表 第 18 号
鋼製グレーチング 自由勾配側溝用 すべり止め 車道用 幅400 1m用 嵩上げ	枚	1			
側溝蓋 自由勾配側溝用 車道用 呼び名400 L=500mm	枚	18			
諸雑費	式	1			
	(10	m 当り)
	(1	m 当り)

単価表 第 17号

自由勾配側溝

単価表

(10)

金額：

内容：標準 B400-H800-L2000，基礎碎石あり，再生碎石 RC-40，18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下，週休2日
補正：現場閉所(通期)

1 m 当り

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	摘要
自由勾配側溝 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約:無	m	10			週休2日補正:現場閉所(通期)
自由勾配側溝 B400-H800 L=2000mm	個	5			
生コンクリート 18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下	m3	0.34			基礎コンクリート
生コンクリート 18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下	m3	0.51			底部コンクリート
再生碎石 RC-40	m3	0.89			
諸雑費	式	1			
	(10	m 当り)
	(1	m 当り)
*** 施工条件 *** 規格(標準用) : 標準 B400-H800-L2000 時間的制約の有無 : 時間的制約:無					
作業時間帯 : 標準 基礎碎石施工の有無 : 基礎碎石あり 基礎碎石の種類 : 再生碎石 RC-40					

単価表 第 17号

自由勾配側溝

単価表

(10)

金額：

内容：標準 B400-H800-L2000 ,基礎碎石あり ,再生碎石 RC-40 ,18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下 ,週休2日
補正：現場閉所(通期)

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
基礎・底部コンクリートの規格 小型車加算の有無 週休2日補正		: 18-8-25(20) 高炉 W/C=60%以下 : 小型車加算:無 : 週休2日補正:現場閉所(通期)			
種類 基礎碎石の設計数量 基礎コンクリート設計数量		: 標準用 : 0.74 m3/10m : 0.32 m3/10m			
底部コンクリートの設計数量		: 0.48 m3/10m			

単価表 第 18号

蓋版

単価表

(1)

金額：

内容：据付，40を超え170kg/枚以下，週休2日補正：現場閉所(通期)

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版 コンクリート製・鋼製 40を超え170kg/枚 時間的制約:無	枚	1.0			週休2日補正:現場閉所(通期)
諸雑費	式	1			
	(1	枚 当り)
*** 施工条件 *** 蓋版の種類 : 上記以外 作業区分 : 据付					
施工区分 : 40を超え170kg/枚以下 時間的制約の有無 : 時間的制約:無 作業時間帯 : 標準					
施工箇所 : 通常 週休2日補正 : 週休2日補正:現場閉所(通期) 蓋版の規格 :					

単価表 第 19号

組立式角形マンホール

単価表

(1)

金額：

内容：1500×1500

1 式 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
組立式角形マンホール 中間ブロック, 1500×1500, H=1200 鋼製蓋用受枠付	個	1			
組立式角形マンホール 中間ブロック, 1500×1500, H=1200	個	1			
組立式角形マンホール 基礎ブロック(上部), 1500×1500, H=900	個	1			
組立式角形マンホール 基礎ブロック(下部), 1500×1500, H=900 600×600開口付	個	1			
組立式角形マンホール開口費 500×500	箇所	1			
マンホールブロック据付工	個	4			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物, バックホウ(クレーン機能付) 打設, 18-8-40(高炉)W/C=60%以下, 一般養生, しない<標準>(全ての費用), 小型車加算無し	m ³	0.8			施工P 第 30 号
コンクリート 無筋・鉄筋構造物, バックホウ(クレーン機能付) 打設, 18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下, 一般養生, しない<標準>(全ての費用), 小型車加算無し	m ³	0.4			施工P 第 34 号
型枠 一般型枠, 鉄筋・無筋構造物	m ²	0.8			施工P 第 22 号
基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下, 再生クラッシュラン RC-40, しない<標準>(全ての費用)	m ²	4.0			施工P 第 35 号

単価表 第 19号

組立式角形マンホール

単価表

(1)

金額：

内容：1500×1500

1 式 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版 据付, 40kg/枚以下, 週休2日補正:現場閉所(通期)	枚	3			単価表 第 20 号
鋼製蓋 歩道用, 545×1602×38, ホルト固定	枚	2			
鋼製蓋 歩道用, 502×1602×38, ホルト固定	枚	1			
諸雑費	式	1			
	(1	式 当り)

単価表 第 20号

蓋版

単価表

(1)

金額：

内容：据付，40kg/枚以下，週休2日補正：現場閉所(通期)

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版 コンクリート製・鋼製 40kg/枚 時間的制約:無	枚	1.0			週休2日補正:現場閉所(通期)
諸雑費	式	1			
	(1	枚 当り)
*** 施工条件 ***					
蓋版の種類	: 上記以外				
作業区分	: 据付				
施工区分	: 40kg/枚以下				
時間的制約の有無	: 時間的制約:無				
作業時間帯	: 標準				
施工箇所	: 通常				
週休2日補正	: 週休2日補正:現場閉所(通期)				
蓋版の規格	:				

単価表 第 21号

中詰土

単価表

(1)

金額：

内容：

1 m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	1			施工P 第 7 号
諸雑費	式	1			
	(1	m3 当り)

単価表 第 22号

1号水路橋

単価表

(1)

金額：

内容：

1 式 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場打ち水路(本体) 別紙、施工単価条件一覧表(単価表 第22号-001)参照	m	7.4			施工P 第 36 号
足場工 手摺先行型枠組足場	掛m ²	19.980			単価表 第 6 号
支保工 パイプ架橋ト支保 , 40空m3以下(小規模) , f ≤ 40kN/m ²	空m3	5.400			単価表 第 23 号
諸雑費	式	1			
	(1	式 当り)

単価表 第 23号

支保工

単価表

(10)

金額:

内容: パイポット支保, 40空m3以下(小規模), $f \leq 40\text{kN/m}^2$

1 空m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.29			[1]
型わく工 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.53			[1]
とび工 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.25			[1]
普通作業員 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.57			[1]
諸雑費 13 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(10	空m3 当り)
	(1	空m3 当り)
*** 施工条件 *** 工法 : パイポット支保 総設置数量 : 40空m3以下(小規模)					
支保耐力 : $f \leq 40\text{kN/m}^2$					

単価表 第 24号

取合わせ水路

単価表

(1)

金額：

内容：

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 無筋・鉄筋構造物，バックホ(クレーン機能付)打設，24-12-25(20)(高炉)W/C=55%以下，一般養生，しない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	1.14			施工P 第 40 号
型枠 一般型枠，鉄筋・無筋構造物	m ²	6.40			施工P 第 22 号
目地板 30m ² 以上，瀝青質目地板t=10	m ²	0.11			施工P 第 17 号
コンクリート 無筋・鉄筋構造物，バックホ(クレーン機能付)打設，C=170kg/m ³ (高炉)，養生工無し，しない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	0.29			施工P 第 19 号
型枠 一般型枠，均しコンクリート	m ²	0.20			施工P 第 20 号
鉄筋工 SD345 D13，一般構造物，10t未満，週休2日補正:現場閉所(通期)	t	0.049			単価表 第 4 号
基礎碎石 17.5cmを超え20.0cm以下，再生クラッシュラン RC-40，しない<標準>(全ての費用)	m ²	2.90			施工P 第 38 号
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)

単価表 第 25号

構造物とりこわし

単価表

(1)

金額：

内容：無筋構造物，機械施工，週休2日補正：現場閉所(通期)

1 m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工 無筋構造物 機械施工 時間的制約:無	m3	1			週休2日補正:現場閉所(通期)
諸雑費	式	1			
	(1	m3 当り)
*** 施工条件 ***					
構造物区分	: 無筋構造物				
作業区分	: 機械施工				
時間的制約の有無	: 時間的制約:無				
作業時間帯	: 標準				
低騒音・低振動対策の有無	: 低騒音・低振動対策なし				
週休2日補正	: 週休2日補正:現場閉所(通期)				

単価表 第 26号

構造物とりこわし

単価表

(1)

金額：

内容：鉄筋構造物，機械施工，週休2日補正：現場閉所(通期)

1 m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工 鉄筋構造物 機械施工 時間的制約:無	m3	1			週休2日補正:現場閉所(通期)
諸雑費	式	1			
	(1	m3 当り)
*** 施工条件 *** 構造物区分 : 鉄筋構造物 作業区分 : 機械施工					
時間的制約の有無 : 時間的制約:無 作業時間帯 : 標準 低騒音・低振動対策の有無 : 低騒音・低振動対策なし					
週休2日補正 : 週休2日補正:現場閉所(通期)					

単価表 第 27号

鋼矢板打込

単価表

(10)

金額：

内容：陸上施工，Ⅲ型，電動式60kW，打込み長9m以下，継施工なし

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正：現場閉所(通期)	人	0.29			[1] 10/N*1
とび工 週休2日補正：現場閉所(通期)	人	0.57			[1] 10/N*2
普通作業員 週休2日補正：現場閉所(通期)	人	0.29			[1] 10/N*1
電動式ハイロハンマ杭打機運転 60kW	日	0.29			[1]
諸雑費 19 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(10	枚 当り)
	(1	枚 当り)
*** 施工条件 *** 施工区分 : 陸上施工 鋼矢板の形式 : Ⅲ型 ハイロハンマの規格 : 電動式60kW 打込み長 : 打込み長9m以下 鋼矢板1枚当り継施工箇所数 : 継施工なし					

単価表 第 28号

鋼矢板引抜(油圧圧入引抜機)

単価表

(10)

金額:

内容: 陸上, III型, 引抜長9m以下

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.21			[1] 10/N*1
特殊作業員 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.21			[1] 10/N*1
とび工 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.42			[1] 10/N*2
油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN(II・III・IV型用)	日	0.21			[1]
ラフテレンクレーン運転(油圧圧入引抜工) 25t吊	日	0.21			[1]
諸雑費 0.2 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(10	枚 当り)
	(1	枚 当り)
*** 施工条件 ***					
施工場所	: 陸上				
鋼矢板の型式	: III型				
引抜長	: 引抜長9m以下				

単価表 第 29号

油圧式杭圧入引抜機据付・解体

単価表

(1)

金額：

内容：引抜き，陸上，Ⅲ型

1 回 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正：現場閉所(通期)	人	0.19			
特殊作業員 週休2日補正：現場閉所(通期)	人	0.19			
とび工 週休2日補正：現場閉所(通期)	人	0.39			
油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN(Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用)	日	0.13			
ラフテレーンクレーン運転(油圧圧入引抜工) 25t吊	日	0.19			
諸雑費	式	1			
	(1	回 当り)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 引抜き 施工場所 : 陸上					
鋼矢板の型式 : Ⅲ型					

単価表 第 30号

鋼矢板賃料(枚当り)

単価表

(1)

金額：

内容：本矢板Ⅲ型 , L=8.5 m, 供用日数247 日, 修理費及び損耗費あり , 1 回使用, 補助工法なし

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鋼矢板賃料(枚) 本矢板Ⅲ型 , L=8.5 m, 供用日数247 日	枚	1.0			単価表 第 31 号
修理費及び損耗費	t	0.51			(n+1)/2
諸雑費	式	1			
	(1	枚 当り)
*** 施工条件 *** 鋼矢板の種類 : 本矢板Ⅲ型 鋼矢板一枚当りの長さ : L=8.5 m					
継続工事の有無 : 継続工事なし 当該工事の供用日数 : 供用日数247 日 修理費及び損耗費計上の有無 : 修理費及び損耗費あり					
一現場での使用回数 : 1 回使用 補助工法の有無 : 補助工法なし 鋼矢板の整備費の規格 :					

単価表 第 31号

鋼矢板賃料(枚)

単価表

(1)

金額：

内容：本矢板Ⅲ型 ,L=8.5 m, 供用日数247 日

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鋼矢板 [本矢板] 3型 [60kg/m] 7~12箇月	t	0.51			
諸雑費	式	1			
	(1	枚 当り)
*** 施工条件 ***					
鋼矢板の種類	: 本矢板Ⅲ型				
鋼矢板1枚当りの長さ	: L=8.5 m				
供用日数	: 供用日数247 日				

単価表 第 32号

大型土のう製作・設置・撤去

単価表

(10)

金額：

内容：製作・設置，流用土，耐候性(φ110 H=110cm)短期仮設対応(1年)，6m以下

1 袋 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.28			[1] 1*10/D
特殊作業員 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.28			[1] 1*10/D
普通作業員 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.28			[1] 1*10/D
耐候性大型土のう φ110(丸型)×H110 短期仮設対応(1年)	袋	10			
バックホリ運転(大型土のう工) 製作・設置，6m以下	日	0.28			
諸雑費 4 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(10	袋 当り)
	(1	袋 当り)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 製作・設置 袋詰土区分 : 流用土					
大型土のう袋の種類 : 耐候性(φ110 H=110cm)短期仮設対応(1年) 設置作業半径 : 6m以下					

単価表 第 33号

大型土のう製作・設置・撤去

単価表

(10)

金額：

内容：撤去，6m以下

1 袋 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正：現場閉所(通期)	人	0.07			1*10/D
特殊作業員 週休2日補正：現場閉所(通期)	人	0.07			1*10/D
バックホリ運転(大型土のう工) 撤去，6m以下	日	0.07			
諸雑費	式	1			
	(10	袋 当り)
	(1	袋 当り)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 撤去 設置作業半径 : 6m以下					

単価表 第 34号

ポンプ設置・撤去

単価表

(1)

金額：

内容：

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正：現場閉所(通期)	人	0.5			
特殊作業員 週休2日補正：現場閉所(通期)	人	0.1			
普通作業員 週休2日補正：現場閉所(通期)	人	2.0			
バックホ運転(縮切排水工)	日	0.5			
諸雑費	式	1			
	(1	箇所 当り)

単価表 第 35号

排水ポンプ 運転

単価表

(1)

金額 :

内容 : 排水量120m³/h以上450m³/h未満 , 常時排水

1 日 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.17			[1]
工事用水中ポンプ 運転(縮切排水工) 150mm×1台,200mm×2台 , 常時排水	日	1			[1]
発動発電機運転(縮切排水工) 60kVA , 常時排水	日	1			[1]
諸雑費 1 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(1	日 当り)
*** 施工条件 *** 排水量区分 : 排水量120m ³ /h以上450m ³ /h未満 排水方法 : 常時排水					

単価表 第 37号

敷鉄板設置・撤去

単価表

(100)

金額 :

内容 : 設置・撤去

1 m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.3			[1] 1×100/D
とび工 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.3			[1] 1×100/D
普通作業員 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.3			[1] 1×100/D
バックホ運転(敷鉄板設置・撤去工)	日	0.3			[1] 単価表 第 38 号
諸雑費 1 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(100	m ² 当り)
	(1	m ² 当り)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 設置・撤去					

単価表 第 38号

バックホリ運転(敷鉄板設置・撤去工)

単価表

(1)

金額:

内容:

1 日 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手(特殊) 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	1			
軽油 一般用 バックホリ給油	リットル	119			
バックホリ(クレーン機能付)(市場価格) クローラ型 山積0.8m3・2.9t吊 週休2日補正:現場閉所(通期)	供用日	1.06			
諸雑費	式	1			
	(1	日 当り)

単価表 第 39号

敷鉄板賃料(枚当り)

単価表

(1)

金額：

内容：25×1524×6096，賃料計上，供用日数246日，整備費あり

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
敷鉄板賃料(枚) 25×1524×6096，供用日数246日	枚	1			単価表 第 40 号
敷鉄板 25×1524×6096 整備費	枚	1			
諸雑費	式	1			
	(1	枚 当り)
*** 施工条件 *** 敷鉄板の種類 : 25×1524×6096 計上区分 : 賃料計上					
継続工事の有無 : 継続工事なし 当該工事の供用日数 : 供用日数246日 整備費の有無 : 整備費あり					

単価表 第 40号

敷鉄板賃料(枚)

単価表

(1)

金額:

内容: 25×1524×6096, 供用日数246 日

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
敷鉄板 25×1524×6096 7~12箇月	枚	1			
諸雑費	式	1			
	(1	枚 当り)
*** 施工条件 *** 敷鉄板の種類 : 25×1524×6096 供用日数 : 供用日数246 日					

単価表 第 42号

土留コンクリート(新設水路・1号函渠左岸)

単価表

(1)

金額：

内容：

1 箇所 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物 ,バックホ(クレーン機能付)打設 ,18-8-40(高炉)W/C=60%以下 ,一般養生 ,しない<標準>(全ての費用) ,小型車加算無し	m ³	0.252			施工P 第 24 号
型枠 一般型枠 ,小型構造物	m ²	1.620			施工P 第 25 号
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ200mm以上400mm以下	孔	2			施工P 第 26 号
鉄筋工 SD345 D13 ,一般構造物 ,10t未満 ,差筋及び杭頭処理 ,週休2日補正:現場閉所(通期)	t	0.001			単価表 第 10 号
諸雑費	式	1			
	(1	箇所 当り)

単価表 第 43号

2号水路橋

単価表

(1)

金額 :

内容 :

1 式 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 無筋・鉄筋構造物,パック材(クレーン機能付)打設,24-12-25(20)(高炉)W/C=55%以下,一般養生,しなない<標準>(全ての費用),小型車加算無し	m ³	2.10			施工P 第 40 号
型枠 一般型枠,鉄筋・無筋構造物	m ²	17.20			施工P 第 22 号
鉄筋工 SD345 D13,一般構造物,10t未満,週休2日補正:現場閉所(通期)	t	0.25			単価表 第 4 号
鉄筋工 SD345 D16~D25,一般構造物,10t未満,週休2日補正:現場閉所(通期)	t	0.037			単価表 第 5 号
目地板 30m ² 以上,瀝青質目地板t=10	m ²	1.06			施工P 第 17 号
足場工 手摺先行型枠組足場	掛m ²	21.08			単価表 第 6 号
支保工 パイポット支保,40空m ³ 以下(小規模),f≦40kN/m ²	空m ³	7.25			単価表 第 23 号
諸雑費	式	1			
	(1	式 当り)

単価表 第 44号

6号U型水路

単価表

(1)

金額：

内容：

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物，クレーン車打設，18-8-40(高炉)W/C=60%以下，一般養生，打設高約17m以下、距離約17m以下，標準，しない<標準>(全ての費用)，小型車加算無し	m ³	0.35			施工P 第 37 号
型枠 一般型枠，小型構造物	m ²	2			施工P 第 25 号
目地板 30m ² 以上，瀝青質目地板t=10	m ²	0.04			施工P 第 17 号
基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下，再生クラッシュラン RC-40，しない<標準>(全ての費用)	m ²	1.15			施工P 第 35 号
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)

単価表 第 45号

横断・転落防止柵撤去工

単価表

(1)

金額：

内容：コンクリート建込，ビーム式，支柱間隔3m，週休2日補正：現場閉所(通期)

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
横断・転落防止柵撤去工(市場単価) コンクリート建込撤去 ビーム式・ハネ式 支柱間隔3m	m	1			
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)
<p>*** 施工条件 ***</p> <p>施工区分 : コンクリート建込</p> <p>防護柵の種類 : ビーム式</p>					
<p>支柱間隔 : 支柱間隔3m</p> <p>時間的制約の有無 : 時間的制約:無</p> <p>作業時間帯 : 標準</p>					
<p>週休2日補正(標準の市場単価のみ) : 週休2日補正:現場閉所(通期)</p>					

単価表 第 46号

横断・転落防止柵設置工

単価表

(1)

金額：

内容：コンクリート建込，ビーム式，支柱間隔3m，週休2日補正：現場閉所(通期)

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
横断・転落防止柵設置工(市場単価) コンクリート建込 ビーム式・ハネ式 支柱間隔3m	m	1			
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)
*** 施工条件 *** 施工区分 : コンクリート建込 防護柵の種類 : ビーム式					
支柱間隔 : 支柱間隔3m 材料区分 : 上記以外 施工規模 : 100m以上					
時間的制約の有無 : 時間的制約:無 作業時間帯 : 標準 週休2日補正(標準の市場単価のみ) : 週休2日補正:現場閉所(通期)					
横断・転落防止柵の規格 :					

単価表 第 47号

鋼矢板賃料(枚当り)

単価表

(1)

金額：

内容：本矢板Ⅲ型 ,L=8.5 m, 供用日数188 日, 修理費及び損耗費あり ,1 回使用, 補助工法なし

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鋼矢板賃料(枚) 本矢板Ⅲ型 ,L=8.5 m, 供用日数188 日	枚	1.0			単価表 第 48 号
修理費及び損耗費	t	0.51			(n+1)/2
諸雑費	式	1			
	(1	枚 当り)
*** 施工条件 *** 鋼矢板の種類 : 本矢板Ⅲ型 鋼矢板一枚当りの長さ : L=8.5 m					
継続工事の有無 : 継続工事なし 当該工事の供用日数 : 供用日数188 日 修理費及び損耗費計上の有無 : 修理費及び損耗費あり					
一現場での使用回数 : 1 回使用 補助工法の有無 : 補助工法なし 鋼矢板の整備費の規格 :					

単価表 第 48号

鋼矢板賃料(枚)

単価表

(1)

金額：

内容：本矢板Ⅲ型 ,L=8.5 m, 供用日数188 日

1 枚 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鋼矢板 [本矢板] 3型 [60kg/m] 7~12箇月	t	0.51			
諸雑費	式	1			
	(1	枚 当り)
*** 施工条件 *** 鋼矢板の種類 : 本矢板Ⅲ型 鋼矢板1枚当りの長さ : L=8.5 m 供用日数 : 供用日数188 日					

単価表 第 49号

大型土のう製作・設置・撤去

単価表

(10)

金額：

内容：設置 ,6m以下

1 袋 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.12			1*10/D
特殊作業員 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.12			1*10/D
普通作業員 週休2日補正:現場閉所(通期)	人	0.12			1*10/D
バックホ運転(大型土のう工) 設置 ,6m以下	日	0.12			
諸雑費	式	1			
	(10	袋 当り)
	(1	袋 当り)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 設置 設置作業半径 : 6m以下					

単価表 第 50号

伐採木・土のう袋等運搬

単価表

(1)

金額：

内容：往復運搬距離L=18.0 km, 2t積級

1 台 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運転(伐採木・土のう袋等運搬) 2t積級	時間	0.6			
諸雑費	式	1			
	(1	台 当り)
*** 施工条件 *** 往復運搬距離 : 往復運搬距離L=18.0 km ダンプトラックの規格 : 2t積級					
タイヤ損耗条件 : 良好					

単価表 第 53号

重建設機械分解組立輸送

単価表

(1)

金額：

内容：クローラークレーン系，35t吊を超え80t吊以下，分解組立，往復

1 回 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員 週休2日補正：現場閉所(通期)	人	5.5			[1]
ラフテレンクレーン(市場価格) 油圧伸縮ジブ型 25t吊 ホールド付き 週休2日補正：現場閉所(通期)	日	1.5			[1]
運搬費等 434 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
諸雑費	式	1			
	(1	回 当り)
*** 施工条件 ***					
機械名	：クローラークレーン系				
クローラークレーン系の規格	：35t吊を超え80t吊以下				
施工区分	：分解組立，往復				

単価表 第 54号

仮設材等運搬

単価表

(1)

金額：

内容：12m以内，140kmまで，往復

1 t 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仮設材等運搬(基本運賃料金) 12m以内，140kmまで	t	1			単価表 第 55 号
諸雑費	式	1			
	(1	t 当り)
*** 施工条件 *** 仮設材等の製品長 : 12m以内 片道運搬距離 : 140kmまで					
深夜早朝(22:00~5:00)割増の有無 : 深夜早朝割増:無 運搬区分 : 往復					

単価表 第 56号

積込み, 取卸し費(仮設材等)

単価表

(1)

金額:

内容: 積込み, 取卸し(往復分)

1 t 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仮設材等の積込み, 取卸し費 積込み, 取卸し(往復分)	t	1			
諸雑費	式	1			
	(1	t 当り)
*** 施工条件 *** 作業区分 : 積込み, 取卸し(往復分)					

施工単価条件一覧表

名称・規格・条件

単価表 第22号-001 現場打ち水路(本体)

24-12-25(20)(高炉)W/C=55%以下,鉄筋有り,3.6m³/10m以上3.8m³/10m以下,バックホウ(クレーン機能付)打設,一般養生・特殊養生(練炭),標準(1.0),小型車加算無し,一般型枠,週休2日補正:現場閉所(通期)

諸 経 費 計 算 情 報

単価適用年月日	令和 6年10月 1日
単価適用地区	高知土木事務所 1 地区(南部地区)
工種区分	水路工事
I C T 補正 (3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理)	補正しない
施工地域・工事場所区分の補正 (共通仮設費)	一般交通影響有り (2) - 2
除雪工事で営繕費の補正を行う場合の補正	補正しない
施工地域・工事場所区分の補正 (現場管理費)	一般交通影響有り (2) - 2
堤頂20mの補正	補正しない
緊急工事の補正	補正しない
前払金支出割合	35%を超える (1.00)
契約保証に係る補正	金銭的保証
工事価格まるめ区分	万円まるめ
現場環境改善費の計上有無	計上しない
熱中症対策の補正有無	補正しない
週休2日の補正	現場閉所 (通期) (補正単価には、「週休2日補正:現場閉所(通期)」と表示)

公表単価一覧表

名称・規格1・規格2	単位	単価	摘要
残土処分費 ネクスリーはるの(株), 高知市春野町西畑	m3	2,000	明細表 第5号 ほか 処分費
マットレス基礎 B1400×H400, 材工共	m	8,580	明細表 第6号 ほか 見積
マットレス基礎 B1700×H600, 材工共	m	11,356	明細表 第7号 見積
マットレス基礎 B2000×H700, 材工共	m	17,161	明細表 第26号 ほか 見積
PC鋼より線 φ12.7mm L=6.0m	本	5,400	単価表 第13号 見積
定着金具 アンカーリップ・アンカープレート	組	3,800	単価表 第13号 見積
組立式角形マンホール 中間ブロック, 1500×1500, H=1200 鋼製蓋用受枠付	個	732,000	単価表 第19号 見積
組立式角形マンホール 中間ブロック, 1500×1500, H=1200	個	516,000	単価表 第19号 見積
組立式角形マンホール 基礎ブロック(上部), 1500×1500, H=900	個	418,000	単価表 第19号 見積
組立式角形マンホール 基礎ブロック(下部), 1500×1500, H=900 600×600開口付	個	659,000	単価表 第19号 見積

公 表 単 価 一 覧 表

名称・規格1・規格2	単 位	単 価	摘 要
組立式角形マンホール開口費 500×500	箇所	48,000	単価表 第19号 見積
鋼製蓋 歩道用, 545×1602×38, ボルト固定	枚	110,000	単価表 第19号 見積
鋼製蓋 歩道用, 502×1602×38, ボルト固定	枚	110,000	単価表 第19号 見積
マンホールブロック据付工	個	12,360	単価表 第19号 下水白本
マットレス基礎 B2700×H400, 材工共	m	18,188	明細表 第14号 見積
簡易支持力試験 エレフト	箇所	45,000	明細表 第43号
不陸整正(W=1.4m以上3.0m以下) 補足材平均厚さ 29mm以上34mm未満 RM-30	m ²	579	明細表 第18号 ほか 見積
低圧受電設備 50kw以下, 材工共 設置, 撤去	箇所	304,990	明細表 第38号
低圧電線線路 材工共 設置, 撤去	m	4,108	明細表 第38号
低圧電動機設備 材工共, 5回路 設置, 撤去	面	99,210	明細表 第38号

公表単価一覧表

名称・規格1・規格2	単位	単価	摘要
ころがし配線 材工共 設置, 撤去	m	3,734	明細表 第38号
暗渠排水管 据付・撤去, 波状管, 200~400mm	m	308	明細表 第21号 見積
大型ﾌﾞﾛｯｸ基礎盤(底面勾配なし) 5分勾配用 控50cm用 L=2500mm アンダーII用同等品	個	17,700	明細表 第6号 ほか
ボックスガルハート 2500×1100	個	730,149	施工P 第29号 見積
大型ﾌﾞﾛｯｸ 高知県型アンダーII(擬石面), 控50cm	m ²	-	施工P 第12号 高知県単価
暗渠排水管 硬質ポリエチレン管 φ500 波状管	m	6,000	施工P 第51号 損料単価(材料費の50%)
暗渠排水管 高密度ポリエチレン管(シングル構造)有孔φ150mm	m	-	施工P 第52号 建設物価10月 P388
修理費及び損耗費	t	13,680	単価表 第30号 ほか (n+1)/2
円形空洞型枠 φ100mm×t2.7mm	m	-	施工P 第33号 建設物価10月 P.173
円形空洞型枠 φ100mm×t2.7mm	m	-	施工P 第28号 建設物価10月 P173

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

【工程関係】

1. 他の工事による施工時期及び全体工期等への影響

(1) 影響箇所

仁ノ排水機場付近

(2) 他の工事の内容

耕地課発注：仁ノ地区排水路整備工事(その8)

道路整備課発注：(仮称)春野町6号線道路改良工事

(3) 他の工事の開始及び完了の時期

耕地課発注：令和7年4月

道路整備課発注：発注時期未定

2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限・・・・・・・・無

3. 当該工事の関係機関との協議の未成立事項

道路占用協議

4. 他官庁等の特定条件による影響・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

5. その他・・・・・・・・無

【用地関係】

1. 工事用地等の未処理部分・・・・・・・・無

2. 仮設ヤード等に官有地及び発注者借り上げ地の使用・・・・・・・・無

【安全対策関係】

1. 交通安全施設等の指定

- (1) 高知市耕地課が管理する仁ノ排水機場を資材および工事関係車両等の出入口として使用する場合は、第三者が侵入しないよう対策を講じること。

2. 近接する公共施設・・・・・・・・鉄道・ガス・電気・電話・水道

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

3. 防護施設の必要・・・・・・・・落石・土砂崩落・・・・・・・・無

4. 発破作業等の保安設備及び保安要員の配置の指定・・・・・・・・無

5. 発破作業等の制限・・・・・・・・無

【工事用道路関係】

1. 一般道路を搬入路として使用する場合

（1）経路、期限の制限・・・・・・・・無

（2）使用中及び使用後の処置・・・・・・・・無

2. 仮設路を設置する場合

（1）安全施設等の設置の必要

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

工事関係者以外が使用することの無いよう立入禁止措置を講じること。

(2) 工事終了後の措置・・・・・・・・存置

(3) 維持及び補修の必要

工事車両の通行等の影響により仮設道路および現道が損傷した場合は受注者の責務において補修対策を行うこと。

3. 一般道路の占用の必要

(1) 路線名

高知市道春野町6号線および春野町34号線

範囲および期間については道路管理者との協議による。

【仮設備関係】

1. 仮土留、仮橋、足場等の仮設物を次年度に使用又は転用、兼用の予定・・・・・・・・無

2. 仮設備の構造、施工方法の指定・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

3. 仮設備の設計条件・・・・・・・・無

【建設副産物関係】

1. 建設発生土の搬出・・・・・・・・有

(1) 搬出先の名称 ネクストリー・はるの株式会社

搬出先の所在地 高知市春野町西畑字吹入谷1993番外

運搬距離 1.4km

その他 上記処理場所について、受注者からの提案で変更する場合は、施工計画時に発注者が各法令等に抵触しない適正な処分場所であることを確認のうえ変更することができる。
なお、処分費と運搬費の合計が設計より安価となる場合は設計変更する。

2. 建設副産物の現場内での再利用及び減量化が必要・・・・・・・・無

3. 産業廃棄物の処理条件（*処理を委託する場合は、委託契約条件締結のうえマニフェストを使用のこと）

(1) 処理場所 コンクリート殻：高知市春野町弘岡中

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

アスファルト殻：高知市春野町弘岡下

廃プラスチック：高知市朝倉己

処理方法（指定） 再生処理

処理場の受入条件

※上記については、「処理方法」は指定とするが、「処理場所」は、積算上の条件明示であり指定事項ではない。

【公害対策関係】

1. 公害防止（騒音・振動・粉じん等）のため、施工方法、機械施設・作動時間等の制限

（1）内容

高知市公害防止条例による。

その他の事項については、特記仕様書による。

2. 第三者に被害を及ぼすことの懸念・・・・・・・・無

【工事支障物件関係】

1. 地上、地下等の支障物件・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

2. 地上、地下等の占用物件工事と重複施工・・・・・・・・無

【排水工（濁水処理を含む）関係】

1. 濁水、湧水等の処理対策の指定

(1) 対策

水中ポンプにより水替えを行う。

【現場環境改善関係】

1. 現場環境改善費・・・・・・・・無

【その他】

1. 工事用資機材等の保管指定・・・・・・・・無

2. 工事現場発生品の処理指定・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

3. 支給資材及び貸与品・・・・・・・・有

硬質ポリエチレン管 波状管 φ400 L=4.0m N=7本

4. 工事中電力等の指定・・・・・・・・無

5. 交通誘導警備員の配置

(1) 工事期間中の安全確保のため、交通誘導警備員の配置人数は下記を予定している。

交通誘導警備員A 10 人

交通誘導警備員B 498 人

なお、交通誘導警備員の配置については、事前に監督職員と協議すること。

6. その他

(1) 簡易支持力試験

試験箇所については監督職員との協議による。

また、床掘後の土質状況により、監督職員と協議のうえ、試験箇所を増減することができる。

その数量の増減については設計変更協議の対象とする。

(2) 搬入土

施 工 条 件 明 示 書

明示事項（説明書）

土取り場については監督職員との協議による。

（3）舗装版切断

切断については乾式を見込んでいる。

特記仕様書

第1条 共通仕様書の適用

1 本工事の施工にあたっては、「高知市建設工事共通仕様書」に基づき実施しなければならない。

ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針、便覧等は改訂された最新のものとする。なお、工事途中で改訂された場合は、この限りではない。

第2条 環境物品等の調達推進（グリーン購入法）

1 本工事において「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」（グリーン購入法）及び「高知県グリーン購入基本原則・基本方針及び実施計画」に基づき重点調達品目について積極的な利用をすること。なお、重点調達品目の中で木材・木製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法令に照らして合法的なものを使用することとする。

第3条 県内産資材の優先使用

1 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。

なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。また、検査時に県外産資材を使用した理由を検査職員に説明すること。

注1：県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。

ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたもの、③木製型枠は、高知県内の森林から生産された木材で製造されたものとする。

注2：県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。

第4条 木製型枠の使用について

1 木製型枠とは、杉、檜の間伐材等を板材に加工したものと栈木を組み合わせて作成した型枠（以下「木製型枠」という。）をいう。また、一般型枠とは、鋼材または、合板で作成した型枠（以下「一般型枠」という。）をいう。

2 設計図書等に「木製型枠」と明示している構造物は、木製型枠を標準的に使用すること。ただし、止め型枠・バチ部への一般型枠の使用は可能とする。

3 高知県内産材を用いて木製型枠を製造する事業所は、高知県ホームページ

(<https://www.pref.kochi.lg.jp/>) 林業振興・環境部木材産業振興課のページに掲載しているのを参考にすること。

なお、県外産材で製作した木製型枠を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打ち合わせ事項に記載し監督職員の確認を受けること。

4 木製型枠は、型枠の現場搬入時から型枠組立、型枠脱型までの施工期間中に現場で木製型枠であることの確認を受けなければならない。確認の方法については、県産材で製作した型枠及び県産材材料には製造者が証明（スタンプ等）を行っているため、その箇所を監督職員に提示することで確認とする。

5 木製型枠を使用できない事由があり、一般型枠を使用する場合も、その使用理由を施工計画書の打ち合わせ事項に記載すること。ただし、その場合は一般型枠への設計変更を行う。

6 受注者は、発注者が行う木製型枠に関する調査に協力しなければならない。

第5条 木材等を使用した公共土木施設の実績調査について

1 本工事の受注者は、木材の利用の有無を問わず「木材等を使用した公共土木施設の実績調査表」を作成し提出しなければならない。

なお、調査表の作成要領、提出は以下のとおりとする。

2 調査表の作成要領、提出について

- （1）調査様式（木材・木製型枠・木製看板を利用した公共土木工事実績調査表）、を高知県ホームページ（<https://www.pref.kochi.lg.jp/>）林業振興・環境部木材産業振興課のページから、ダウンロードする。
- （2）記載要領を参考に必要事項を調査様式に記入し、電子納品物に格納し提出する。
なお、紙納品の場合は、工事管理資料とは別にCD-R等に納めて工事完成後7日以内に監督職員へ提出すること。

第6条 工事現場における県内産木材の木製品使用について

1 受注者は、工事請負代金額が250万円（税込み）以上の場合、「高知県産材利用推進方針」の行動計画に基づき、仮設備や保安施設等の工費用仮設に関する資材は以下の通り、木製品を使用しなければならない。

ただし、これらに関する経費は諸経費に含むものとする。

- （1）ア～オの資材のうち、いずれかに必ず木製品を使用すること。
ア 掲示板（現場組織表、緊急連絡先など公衆に知らせるため設置するもの）
イ 工事看板（1ヶ所以上）
ウ バリケード（1品以上）

特記仕様書

エ 木製クッションドラム（1品以上）

オ 交通安全管理等の標示板

ただし、供用中の道路に係る工事の施工に用いる交通安全管理用標示板の様式仕様等（形態、寸法、色彩ほか）は、「道路工事の安全施設設置要領（案）」（平成8年3月）に準拠すること。

（2）上記1の資材を必要としない工事、委託業務については、その旨を施工計画書に記載し監督職員の確認を得ること。

その場合は、上記1以外の仮設備、保安施設等の工事前仮設資材で木製品をできるだけ1品以上使用すること。

例：現場事務所の棚、机、靴箱、ベンチ等

注1：木製品とは、県内産木材で作成した製品または県内産木材の板材を受注者が加工したものとする。

注2：別工事で購入（加工）した木製品の使用も可とする。

注3：使用する木製品については、施工計画打ち合わせ時に監督職員に報告すること。

注4：県内産木材使用（納入）証明書は必要としないが、木製品の写真を工事写真に納めること。

第7条 個人情報の保護について

1 受注者は、この契約による工事を施工するための個人情報の取り扱いについては個人情報の保護に関する法律を遵守すること。

第8条 暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害（以下この条において「不当介入」という。）の排除について

- 1 受注者は暴力団又は暴力団関係者から工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届け出なければならない。
- 2 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に被害届を提出しなければならない。
- 3 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除措置を講じなければならない。
- 4 受注者が不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。

第9条 ダンプトラック等による過積載の防止について

- 1 積載重量制限を越えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- 2 さし枠装着車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。

3 過積載車両、さし枠装着車等から土砂等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。

4 取引関係のあるダンプトラック事業者が過積載を行い、またさし枠装着車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

5 建設発生土の処理及び資材の購入等にあたって、下請業者及び資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

6 以上のことにつき受注者は、下請業者を十分に指導すること。

第10条 軽油単価の適正な運用について

1 本工事において、受注者もしくは受注者の下請業者等が使用する建設機械の動力源に使用する軽油において、軽油引取税の課税対象の免許証の交付及び承認がある場合は、すみやかに発注者に報告しなければならない。また、その場合、該当する建設機械に使用する軽油単価は免税後の単価に変更するものとする。

第11条 不正軽油の使用禁止

1 受注者は、工事の施工に当たり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油を使用してはならない。

注：不正軽油とは、地方税法第144条の32の規定による県知事の承認を受けないで製造又は譲渡された次のものをいう。

- ① 軽油と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和したもの
- ② 軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和して製造されたもの
- ③ 自動車の燃料として譲渡・消費される燃料炭化水素（重油、灯油等）

2 受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。

第12条 工事実績データ作成、登録

1 高知市建設工事共通仕様書共通編1-1-1-5に基づき、受注者は、工事請負代金額500万円以上（単価契約の場合は登録不要）の全ての工事について、工事実績情報サービス（コリンズ）に受注・変更（工期、請負代金額、技術者）・完成・訂正時の工事実績データを登録しなければならない。

第13条 公共事業労務費調査に対する協力

1 本工事が高知県の実施する公共事業労務費調査の対象工事になった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し高知県に提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。

特記仕様書

- 2 調査票等を提出した事業所を高知県が事後に訪問して行う調査・指導の対象に受注者がなった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。
- 3 公共事業労務費調査の対象工事になった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、受注者は、労働基準法等に従って就労規則を作成するとともに貸金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の貸金時間管理を適切に行っておかなければならない。
- 4 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請人を含む）が前3項と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

第14条 再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出並びに建設発生土の搬出に係る事前確認及び受領書について

- 1 受注者は、建設資材の利用量の大小に関わらず工事請負代金額が100万円(税込み)以上の場合、または、土砂の搬入量または搬出量が500m³以上の場合、再生資源利用計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式1)を建設副産物情報交換システム(以下「COBRIS」という。)により作成し、施工計画書と併せて提出しなければならない。
- 2 受注者は、建設副産物の搬入量・搬出量の大小に関わらず工事請負代金額が100万円(税込み)以上の場合、または、土砂の搬入量または搬出量が500m³以上の場合、再生資源利用促進計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式2)をCOBRISにより作成し、施工計画書と併せて提出しなければならない。
- 3 受注者は、500m³以上の建設発生土を搬出する建設工事において再生資源利用促進計画を作成しようとするときは、あらかじめ工事現場内の土地の掘削その他の形質の変更についての土壌汚染対策法等の手続きの確認並びに搬出先が宅地造成及び特定盛土等規制法及び土砂条例の許可地等であるかなどの確認を行い、その確認結果を記載した書面を作成し再生資源利用促進計画の添付資料とする。
- 4 受注者は、再生資源利用(促進)計画書の内容を発注者に説明しなければならない。また、再生資源利用(促進)計画書(現場掲示用様式)を公衆が見やすい場所に掲げること。
- 5 受注者は、500m³以上の建設発生土を搬出する建設工事において建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに、当該搬出先の管理者に対し、受領書の交付を求め、記載された搬出先の名称及び所在地が計画と

一致することを確認する。なお、発注者から請求があった場合は速やかに受領書を提示すること。

- 6 受注者は、建設発生土を再生資源利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、搬入元の管理者に対し受領書を交付する。
- 7 受注者は、再生資源利用(促進)計画書、実施書及び受領書を工事完了日から5年を経過する日まで保存すること。
(参考) COBRISについては、建設副産物情報センターのホームページ(<http://www.recycle.jacic.or.jp>)より、利用申請等を行うことができる。

第15条 産業廃棄物管理票等の提出

- 1 受注者は、本工事に伴い発生する産業廃棄物(以下「産業廃棄物」という。)について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下「廃掃法」という。)を遵守し工期内に最終処分(埋立処分、海洋投入処分、又は再生)を終了しなければならない。また、受注者は産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認するとともに発注者にそのE票の確認を受けなければならない。
ただし、廃掃法を遵守したうえで、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、発注者が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとするが、最終処分終了後すみやかに発注者にその旨を報告しなければならない。この場合、受注者は産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに発注者にそのB2票の写しを提出しなければならない。また、最終処分終了後すみやかにE票の写しを提出しなければならない。なお、廃掃法に定める電子情報処理組織を使用する場合は、監督職員と別途協議するものとする。

第16条 建設副産物対策(建設副産物処理の数量確認)

本工事において、現場内(現場外に仮置きした場合は積替保管場所)から建設副産物を搬出する場合、受注者は、搬出時等に以下のいずれかの作業を行い撮影し、設計数量の確認資料として、監督職員に提出等をするものとする。

(作業内容)

- (1) 建設副産物の処理数量を重さ(「t」)の単位とする場合
 - ①受注者は、建設副産物を現場内(現場外に仮置きした場合は積替保管場所)から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載し(運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。)、工事黒板と荷姿、運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面の写真撮影をする。(各積載重量別車

特記仕様書

両毎に1工程以上（以下「代表写真」という。））

②受注者は、①の全車両について処理施設に設置されているトラックスケールにて、重さを測定し、レシート等の記録を保管する。

③受注者は、監督職員に①を提出し、②の記録を提示する。

(2) 建設副産物の処理数量を体積（「m³」）の単位とする場合

次の1）から3）のうち、いずれかの方法により確定する。

1) コンクリート殻、アスファルト殻及び土砂など地山の状態または、建設発生木材（伐採木を含む）を山積みした状態等で体積確認ができるものは、地山測定による設計数量の確定をする。受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載し（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）、工事黒板と荷姿、運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面の写真撮影をする。（代表写真）

2) 前記「(1) 建設副産物の処理数量を重さ（「t」）により確認する場合」により重さを測定し、換算係数を用いて体積を算出して設計数量を確定する。

- ・コンクリート塊（鉄筋） 2.5 (t/m³)
- ・コンクリート塊（無筋） 2.35 (t/m³)
- ・アスファルト塊 2.35 (t/m³)
- ・掘削土（土砂） 1.8 (t/m³)
- ・掘削土（軟岩） 2.2 (t/m³)
- ・掘削土（硬岩） 2.5 (t/m³)

3) 地山状態または、建設発生木材（伐採木を含む）を山積みした状態等で体積確認ができずに、掘削や取壊しなどを行った場合は、現場外への搬出の際に以下により確認する。

①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）。（全車写真）

②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるようリボンテープ等のスケールをあて写真撮影をする。（全車写真）

③また、②の状態のまま運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面の写真撮影をする。（全車写真）

④受注者は、監督職員に②③を提出する。

(3) 受注者と処理施設との間の処理数量を「台数」による契約とする場合

①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）。（全車写真）

②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるようリボンテープ等のスケールをあて写真撮影をする。（全車写真）

③また、②の状態のまま運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面の写真撮影をする。（全車写真）

(4) 建設副産物（建設発生木材（伐採木を含む））を木材市場等に搬出する場合

①受注者は、木材を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時に、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する。（木材市場等まで運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。ただし、伐採木の売却を目的とした伐採木の枝打ち、玉切り等の加工、選別をしたものは、マニフェスト交付番号の記載は必要ない。）（全車写真）

②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるよう運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面の写真撮影をする。（代表写真）

③受注者は、監督職員に②を提出し、木材市場等の受入伝票等を提示する。

第17条 監督職員による検査（確認を含む）及び立会等

1 工事の施工について、監督職員の立会を要する工種は施工計画打合せにより定めるものとする。

第18条 施工管理

1 高知市土木請負工事技術管理指針に基づき実施することとする。

第19条 デジタル工事写真の黒板情報電子化

デジタル工事写真の黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入及び、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事でデジタル工事写真の黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の黒板情報電子化対象工事（以下、「対象工事」という。）とすることができる。対象工事では、以下の1から3の全

特記仕様書

てを実施することとする。

1 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「使用機器」という。）については、高知市土木請負工事技術管理指針の第9条（写真管理）（2）撮影基準に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC暗号リスト）」

（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例として、

（URL「<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>」）記載の「デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア」を参照すること。ただし、使用機器を限定するものではない。

2 デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、前項1の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、高知市土木請負工事技術管理指針の第9条（写真管理）（2）撮影基準による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、前項2に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黑板情報電子化写真」という。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお、納品時に、受注者は

（URL「<https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>」）のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

第20条 排出ガス対策型建設機械

1 本工事において、以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付建設省経機発第249号 最終改正平成14年4月1日付国総施第225号）」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程（国土交通省告示第348号、平成18年3月17日）」もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成18年3月17日付け国総施第215号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。なお、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成17年法律第51号）」に基づき、技術基準に適合するものとして届出された特定特殊自動車を、本工事において使用する場合はこの限りではない。

排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明等により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。

ただし、これにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。また、工事請負代金額が5千万円（税込み）以下の工事については、未対策型建設機械を所有しており、新たな出費を強いられる等の理由がある場合は、施工計画打ち合わせ時に監督職員と協議し、止むを得ないと判断された場合は、未対策型建設機械を使用することができるものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、受注者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとし、施工状況写真に格納すること。

機 種

- ・バックホウ
- ・トラクタショベル（車輪式）
- ・ブルドーザ
- ・発動発電機（可搬式）
- ・空気圧縮機（可搬式）
- ・油圧ユニット（次に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、パイロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、

特記仕様書

地下連続壁施工機，全回転型オールケーシング掘削機)

- ・ロードローラ，タイヤローラ，振動ローラ
- ・ホイールクレーン（ラフテレーンクレーンを含む）

※対象はディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。

第21条 交通誘導警備員の配置について

1 交通誘導警備員を配置する場合は，原則として警備業法（昭和47年法律第117号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし，建設作業員等の他職種の者を従事させてはならない。

ただし，一時的な作業等で，安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては，この限りでない。

2 交通誘導警備員Aが必要な交通誘導警備業務については，交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員を交通誘導警備業務を行う場所ごとに，1人以上配置することとする。

なお，配置する警備員の検定合格証の写しを事前に監督職員に提出し，警備員に変更が生じた場合は，速やかに監督職員に同資料を提出することとする。

3 交通誘導警備員Aが必要でない交通誘導警備業務については，警備業者の警備員であれば，交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員である必要はない。

また，警備業者の警備員の配置が困難な場合は，別に定める手続きにより，警備業者の警備員によらず建設作業員等の他職種の者を交通誘導警備員として従事させることができることとする。なおその際，受注者は，交通誘導に関する安全教育を建設作業員等に行ったうえ，交通誘導警備員として専任させること。

4 交通誘導警備員の人手不足により，施工箇所周辺の警備会社からの配置が困難であり，やむなく現場までの通勤が長時間となる場合は，事前に移動距離および移動時間が確認できる資料及び「交通誘導警備員の配置に関する確認書」を複数の警備業者より徴収し，監督職員に提出・協議を行うこと。

必要と認められる経費については，設計変更の対象とするものとする。

（交通誘導警備員A・Bの定義）

交通誘導警備員A：警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で，交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4項に規定する交通誘導警備業務をいう。）

に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員

交通誘導警備員B：警備業者の警備員で，交通誘導警備員A以外の交通誘導に従事するもの

第22条 安全・訓練等

1 安全・訓練等の実施

本工事の施工に際し，現場に即した安全・訓練等について，本工事着手後，原則として作業員全員の参加により月当たり半日以上（月2回に分割可）を割り当て，下記の項目から実施内容を選択し安全・訓練等を実施するものとする。

- （1）安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- （2）本工事内容等の周知徹底
- （3）工事安全に関する法令，通達，指針等の周知徹底
- （4）本工事における災害対策訓練
- （5）本工事現場で予想される事故対策
- （6）その他，安全・訓練等として必要な事項

2 安全・訓練等に関する施工計画の作成

施工に先立ち作成する施工計画書に，本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的計画を作成し，監督職員に提出するものとする。

3 安全・訓練等の実施状況報告

安全・訓練等の実施状況を写真，工事日誌等に記録し，提出するものとする。

第23条 低騒音型・低振動型建設機械

1 本工事の施工は「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（平成9年建設省告示第1536号，一部改正平成13年国土交通省告示第487号）」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。ただし，同規定に記載されていない機種・規格の建設機械により施工する場合はこの限りではない。なお，低騒音型建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は，監督職員と協議し，普通型の建設機械を使用することが出来る。

第24条 交通安全管理

1 受注者は，供用中の道路に係る工事の施工にあたっては，「道路工事の安全施設設置要綱（案）」（平成8年3月）等を参考に実施するものとし，より一層の安全対策を講じるものとする。

第25条 交通規制

特記仕様書

- 1 受注者は施工上やむを得ず交通規制を実施する必要がある場合は、規制の計画を監督職員に提出するとともに、関係機関から指示された事項を行わなければならない。

第26条 制限車輛の使用許可

- 1 道路法第47条第1項および道路交通法等で制限された車輛を使用する場合は、許可証の写し（コピー）を監督職員に提出すること。

第27条 再生資材の使用

- 1 再生資材の使用にあたっては、プラント再生舗装技術指針及びコンクリート副産物の再利用に関する用途別暫定品質基準（案）等を遵守のうえ、適正な品質を確保すること。

また、資材及び適正な品質を確保できない場合は、監督職員と協議すること。

第28条 アスファルト舗装（表層）における石灰石使用

- 1 車道のアスファルト舗装において、表層のアスファルト混合物に使用する骨材に石灰石を使用してはならない。ただし、以下の場合はこの限りでない。
 - (1) 車道のアスファルト舗装工（表層工）において、表層に再生アスファルト混合物を使用する場合のアスファルトコンクリート再生骨材に含まれている石灰石。ただし、補足材には石灰石を使用してはならない。
 - (2) 車道の路上再生表層工において、既設アスファルト舗装に含まれている石灰石。ただし、補足材には石灰石を使用してはならない。
- 2 特にすべり止め効果を期待する場合は、本項1のただし書きは適用しないものとする。

第29条 事業損失防止対策

- 1 工事の施工にあたっては、建設公害の発生に充分留意して施工すること。（公害の予想される工種についてはあらかじめ地元関係者との協議および家屋調査、騒音、振動等の調査を行うとともに監督職員と協議して工事の円滑な施工に基づき実施しなければならない。）
- 2 地盤変動を原因とする事業損失
 - (1) 施工に伴う被害が予想され、発注者が家屋等の事前調査を実施している工事については、工事契約締結時『工事の施工に伴い第三者に及ぼした損害の補償に関する覚書』を締結すること。（覚書締結指定工事 表紙に記載）
 - (2) 工事中に被害が発生する恐れが生じた場合もしくは工事完了後被害が生じた場合は、その時点で『工事の施工に伴い第三者に及ぼした損害の補償に関する覚書』

を締結すること。

第30条 地盤改良工事（六価クロム溶出試験）

- 1 地盤改良を行う場合は、土質試験を行い改良材及び配合量の確認を行うものとする。なお、試験結果によるものについては設計変更の対象とする。
- 2 上記により改良材がセメント系固化材に確定した場合、六価クロム溶出試験を行い、試験結果を提出するものとする。なお、試験方法は、セメント及びセメント固化材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

第31条 生コンクリートの使用

- 1 生コンクリートを使用する場合は、高知県土木部制定「高知県建設工事共通仕様書」によるものとする。
- 2 コンクリートの材令28日強度試験については、「高知県生コンクリート工業組合技術センター」において行うものとする。

第32条 工事施工区間の既存表示板（基準点、境界板、水道、ガス等）の保護および復旧

- 1 受注者は、着工前に工事予定区間における既存表示板（以下「表示板」という）の調査を行い、すみやかに監督職員に報告を行うこと。
- 2 受注者は、工事に際しやむを得ず表示板を除去しなければならない時は、関係機関と協議を行い、その対策を講ずること。
- 3 受注者は、施工時において表示板に損傷または破損を生じた場合は、すみやかに当該表示板の管理者と協議し、復旧しなければならない。
- 4 受注者は、工事に際し一般の通行に供する部分に設置した測点、仮BM等の板及び杭について工事完了後、必要なものを除き、すみやかに撤去すること。

第33条 宅地内からの排水口について

- 1 使用されているか否か十分に確認（記録に残す）を行い対応すること。
- 2 排水口については逆流防止対策等、監督職員と協議を行い実施しなければならない。

第34条 道路区域内の工事における標示施設の設置について

- 1 供用中の公共道路に係る工事を行う場合は、「道路工事における標示施設等の設置基準の一部改定について（国土交通省道路局長通知、平成18年3月31日 国道利第37号・国道国防第205号）」に基づき、安全対策を講じなければならない。
参考）道路工事現場における標示施設等の設置基準における道路工事の標示について（運用）

特記仕様書

(道路課ホームページ<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/170701/>)

第35条 コンクリート工について

- 1 コンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート構造物については55%以下、無筋コンクリート構造物の場合は60%以下としなければならない。なお、設計図書において別に定めがある場合は、それによるものとする。
- 2 鉄筋のかぶりを確保するため、スペーサーを設置するものとする。なお、スペーサーは、構造物の側面については原則1m2につき2個以上、構造物の底面については原則1m2につき4個以上設置するものとする。
スペーサーの個数については、鉄筋組立て完了時に段階確認を受けなければならない。

第36条 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第37条 設計変更ガイドラインの契約図書への位置づけ

- 1 設計変更等については、工事請負契約書第18条から第20条及び第22条から第25条並びに高知市建設工事共通仕様書共通編1-1-1-13から1-1-1-15に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては「工事請負契約における設計変更ガイドライン（令和3年4月（高知市）」によることとする。

第38条 標示板の設置

- 1 国土強靱化対策に係る建設工事において、高知市建設工事共通仕様書第1編1-1-1-23 施工管理に規定する標示板の設置にあたっては、当該工事が「国土強靱化対策工事」であることを明示するものとする。掲示方法の詳細については、「防災・減災、国土強靱化のための加速化対策における標示施設の設置について」（令和3年6月29日付け3技監第71号通知）等を参考とすること。

第39条 「週休2日制モデル工事」の実施について

- 1 本工事は、「週休2日制モデル工事」実施要領における週休2日制モデル工事の対象工事である。
詳細については、下記に掲載する同要領を参照すること。
高知市技術監理課ホームページ
(<https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/shukuyhutsuka/>)
なお、発注時において労務費等を通期で補正済みであり、現場閉所の達成状況が4週8休に満たない場合、又は週休2日制モデル工事から週休2日交替制モデル工事に変更となった場合は、当該補正分を減額して契約変更を行うものとする。

第40条 熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行の対象工事である。
実施にあたっては、下記のホームページを参照すること。
高知市技術監理課ホームページ
(<https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/>)

第41条

- 1 設計変更等については、工事請負契約書第18条から第20条及び第22条から第25条並びに高知市建設工事共通仕様書共通編1-1-1-13から1-1-1-15に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては「工事請負契約における設計変更ガイドライン（令和3年4月（高知市）」によることとする。

第42条 舗装版の切断作業時に発生する排水の処理

- 1 舗装版切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された排水については、適正に処理するものとする。
また、処理数量については、処理実績により変更契約するものとする。
なお、排水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）を監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その7）
 区 分：水路1-4-1

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量		摘 要
					設計数量		
土工				式	1		
	掘削工			式	1		
		掘削	(93KH)	m3	220		
		床掘(土砂)	(14K)	m3	4,200		
		床均し	(T)	m2	920		
	路体盛土工			式	1		
		路体(良質土)	(BV7・BV8)	m3	430		
	路床盛土工			式	1		
		路床(RC-40)	(BV3)	m3	23		
	埋戻工			式	1		
		B4-A(RC-40)	(W1≥4.0m)	m3	150		
		B4-C(RC-40)	(1.0m≤W1<4.0m, W2<1.0m)	m3	280		
		B4-D(RC-40)	(最大埋戻幅1m未満)	m3	320		
	残土処理工・搬入土工			式	1		
		運搬	(土砂)	m3	4,400		現場内運搬 L=1.0km
		積込	(土砂)	m3	4,400		
		運搬・残土処理	(土砂)	m3	4,400		
		搬入土	(RC-40)	m3	930		
		搬入土	(良質土)	m3	480		
ブロック積工				式	1		
	2号ブロック積工			式	1		
		コンクリートブロック	(控え50cm)	m2	403		
		胴込コンクリート	(σck=18N/mm2)	m3	102		
		裏込碎石	(RC-40)	m3	157		
		目地材	(t=10mm)	m2	26		
		ブロック積基礎	(n=1:0.5用)	m	116		
		ブロック積基礎	(n=1:0.5用)	個	47		
		中詰めコンクリート	(σck=18N/mm2)	m3	3		
		目地材	(t=10mm)	m2	1		
		マットレス基礎	(W=1.4m, H=0.4m)	m	116		
	3号ブロック積工			式	1		
		コンクリートブロック	(控え50cm)	m2	1,301		
		胴込コンクリート	(σck=18N/mm2)	m3	328		
		裏込碎石	(RC-40)	m3	457		

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その7）
 区 分：水路1-4-1

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量		摘 要
					設計数量		
		目地材	(t=10mm)	m ²	63		
		ブロック積基礎	(n=1:0.5用)	m	520		
		ブロック積基礎	(n=1:0.5用)	個	208		
		中詰めコンクリート	(σ ck=18N/mm ²)	m ³	13		
		目地材	(t=10mm)	m ²	5		
		マットレス基礎	(W=1.4m, H=0.4m)	m	517		
		マットレス基礎	(W=1.7m, H=0.6m)	m	4		
	足場工			式	1		
		単管傾斜足場		掛m ²	850		
カルバート工				式	1		
	1号函渠		(B=4.1m×H=1.8m)	式	1		
		置換基礎	(RC-40)	m ³	46		
		均しコンクリート	(C=170kg/m ³)	m ³	3		
		型枠	(均しコンクリート)	m ²	2		
		コンクリート	(σ ck=24N/mm ²)	m ³	37		
		鉄筋	(SD345, D13)	t	1.23		
		鉄筋	(SD345, D16~D25)	t	2.90		
		型枠	(鉄筋構造物)	m ²	95		
		足場工	(手摺先行型枠組足場)	掛m ²	80		
		支保工	(ハイブールト)	空m ³	50		
		護岸コンクリート		m	13		
		土留めコンクリート	(右岸)	箇所	2		
		土留めコンクリート	(左岸)	箇所	2		
		箱抜き		m	1		
		転落防止柵	(コンクリート建込用)	m	11		
	2号函渠		(B=2.5m×H=1.1m)	式	1		
		プレキャストボックスカルバート		式	1		
		地覆		m	6		
		土留めコンクリート		箇所	1		
		自由勾配側溝	(縦断用 B400×H800)	m	3		
		箱抜き		m	1		
		転落防止柵	(コンクリート建込用)	m	7		

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その7）
 区 分：水路1-4-1

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量		摘 要
					設計数量		
サイホン工				式	1		
	集水塔工			式	1		
		組立式角形マンホール		式	1		
		中詰土		m ³	6		
	1号水路橋			式	1		
		1号水路橋	(B500×H500)	式	1		
擁壁工				式	1		
	2号重力式擁壁			式	1		
		平均擁壁高		m	0.9		
		コンクリート	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m ³	9		
		型枠	(小型)	m ²	35		
		目地板	($t=10mm$)	m ²	0.9		
		基礎碎石	(RC-40)	m ²	17		
	3号重力式擁壁			式	1		
		平均擁壁高		m	3.1		
		場所打ち擁壁工(1)	(重力式擁壁)	m ³	16		
		マット基礎		m	5		
排水構造物工				式	1		
	底張工			式	1		
		コンクリート	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m ³	311		
		型枠	(小型)	m ²	31		
		目地材	($t=10mm$)	m ²	31		
	取合わせ水路			式	1		
		取合わせ水路		m	4		
付帯工				式	1		
	既設構造物取壊し工			式	1		
		舗装版切断	($t=15cm$ 以下)	m	14		
		舗装版破碎	($t=15cm$ 以下)	m ²	44		
		As殻運搬処理		m ³	2		
		コンクリート構造物取壊し	(無筋構造物)	m ³	41		
		Con殻運搬処理		m ³	41		
		コンクリート構造物取壊し	(鉄筋構造物)	m ³	6		
		Con殻運搬処理		m ³	6		

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その7）
 区 分：水路1-4-1

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量		摘 要
					設計数量		
	舗装復旧工			式		1	
		表層	(再生密粒度, t=30mm, 瀝青材なし)	m2		22	
		舗装版破碎	(アスファルト, t=15cm以下)	m2		22	
		As殻運搬処理		m3		0.7	
		上層路盤	(RM-30, t=200mm)	m2		22	
		不陸整正	(補足材平均厚さ 29mm以上34mm未満)	m2		22	
		表層	(t=5cm, 再生密粒度アスコTOP13)	m2		44	
仮設工				式		1	
	仮締切工			式		1	
		鋼矢板打込	(Ⅲ型, L=9.0m以下)	枚		27	
		鋼矢板引抜	(Ⅲ型, L=9.0m以下)	枚		27	
		油圧式杭圧入引抜機据付・解体		回		1	
		鋼矢板賃料	(Ⅲ型, L=8.5m)	日		247	1回使用 N=27枚
		仮設資材運搬	(往復)	t		13.8	鋼矢板 新設水路で計上
		仮設資材積込取卸し	(往復)	t		13.8	鋼矢板 新設水路で計上
		大型土のう	(製作・設置)	袋		10	
		大型土のう	(撤去)	袋		10	
		伐採木等運搬		台		1	新設水路で計上
		廃プラスチック		m3		0.1	新設水路で計上
	仮排水工						
		ポンプ設置・撤去		箇所		2	
		ポンプ運転	(120以上450未満) (常時排水)	日		78	用水対策用 発動発電機
		ポンプ運転	(450以上1300未満) (常時排水)	日		234	商用電源
	工事用道路工			式		1	
		敷鉄板	(設置・撤去)	m2		1,041	
		敷鉄板	(賃料)	枚		112	N=246日
		大型土のう設置	(設置)	袋		63	
		大型土のう設置	(撤去)	袋		63	
		伐採木等運搬		台		1	新設水路で計上
		廃プラスチック		m3		0.4	新設水路で計上
		暗渠排水管	(設置・撤去) φ 400	m		28	過年度工事の余り使用
		仮設資材運搬	(往復)	t		179.7	敷鉄板 新設水路で計上
		仮設資材積込取卸し	(往復)	t		179.7	敷鉄板 新設水路で計上

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その7）
 区 分：新設水路

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	摘 要
土工				式	1	
	掘削工			式	1	
		掘削	(93KH)	m3	320	
		床掘(土砂)	(14K)	m3	3,100	
		床均し	(T)	m2	410	
	路体盛土工			式	1	
		路体(良質土)	(BV8)	m3	28	
	埋戻工			式	1	
		B4-C(良質土)	(1.0m ≤ W1 < 4.0m, W2 < 1.0m)	m3	270	
		B4-D(良質土)	(最大埋戻幅1m未満)	m3	650	
	残土処理工・搬入土工			式	1	
		運搬	(土砂)	m3	3,500	現場内運搬 L=1.0km
		積込	(土砂)	m3	3,500	
		運搬・残土処理	(土砂)	m3	3,500	
		搬入土	(RC-40)	m3	1,100	
		搬入土	(良質土)	m3	31	
ブロック積工				式	1	
	2号ブロック積工			式	1	
		コンクリートブロック	(控え50cm)	m2	254	
		胴込コンクリート	(σ ck=18N/mm2)	m3	64	
		裏込砕石	(RC-40)	m3	99	
		目地材	(t=10mm)	m2	24	
		ブロック積基礎	(n=1:0.5用)	m	75	
		ブロック積基礎	(n=1:0.5用)	個	30	
		中詰めコンクリート	(σ ck=18N/mm2)	m3	2	
		目地材	(t=10mm)	m2	0.8	
		マットレス基礎	(W=1.4m, H=0.4m)	m	74	
		マットレス基礎	(W=2.0m, H=0.7m)	m	1	
	3号ブロック積工			式	1	
		コンクリートブロック	(控え50cm)	m2	640	
		胴込コンクリート	(σ ck=18N/mm2)	m3	161	
		裏込砕石	(RC-40)	m3	241	

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その7）
 区 分：新設水路

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	摘 要
		目地材	(t=10mm)	m2	31	
		ブロック積基礎	(n=1:0.5用)	m	204	
		ブロック積基礎	(n=1:0.5用)	個	82	
		中詰めコンクリート	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m3	5	
		目地材	(t=10mm)	m2	2	
		マットレス基礎	(W=1.4m, H=0.4m)	m	204	
		マットレス基礎	(W=2.0m, H=0.7m)	m	1	
	足場工			式	1	
		足場工	(手摺先行型枠組足場)	掛m2	450	127.0+319.8
	小口止め工			式	1	
		コンクリート	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m3	2	
カルバート工				式	1	
	1号函渠		(B=4.6m×H=1.8m)	式	1	
		基礎砕石	(RC-40、t=200mm)	m2	32	
		均しコンクリート	(C=170kg/m3)	m3	3	
		型枠	(均しコンクリート)	m2	2	
		コンクリート	($\sigma_{ck}=24N/mm^2$)	m3	33	
		鉄筋	(SD345、D13)	t	1.10	
		鉄筋	(SD345、D16～D25)	t	1.99	
		型枠	(鉄筋構造物)	m2	85	
		足場工	(手摺先行型枠組足場)	掛m2	80	
		支保工	(40kN/m2以下)	空m3	50	
		護岸コンクリート		m	11	
		土留めコンクリート	(下流左岸)	箇所	1	
		箱抜き		m	1	
		転落防止柵(W)	(コンクリート建込用)	m	11	
水路橋工				式	1	
	現場打水路工			式	1	
		2号水路橋		式	1	
		6号U型水路		m	3	

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その7）
 区 分：新設水路

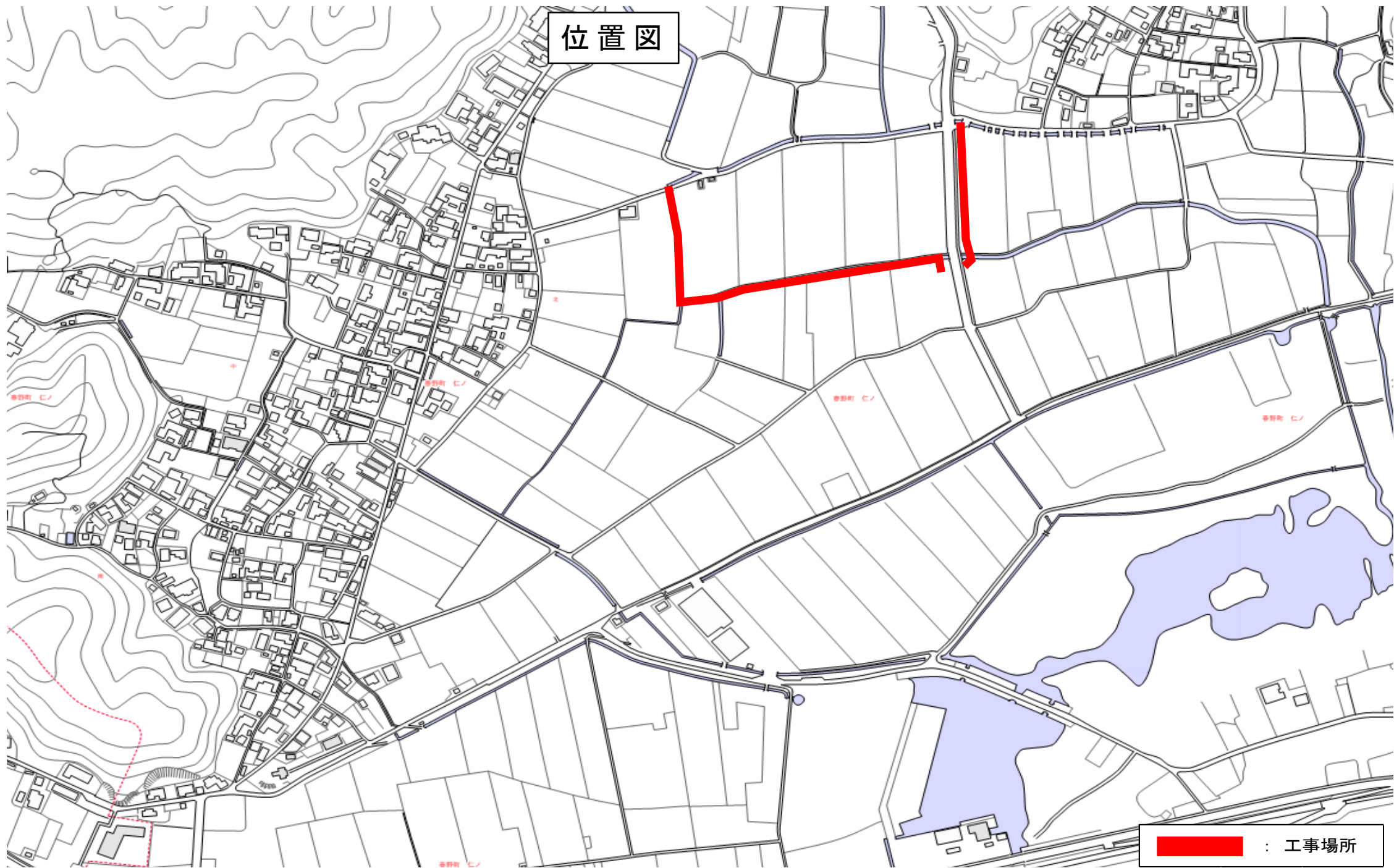
工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	摘 要	
擁壁工				式	1		
		2号重力式擁壁		式	1		
			平均擁壁高	m	0.9		
			コンクリート	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m ³	3	
			型枠	(小型)	m ²	10	
			基礎碎石	(RC-40)	m ²	4	
排水構造物工				式	1		
		底張工		式	1		
			コンクリート	($\sigma_{ck}=18N/mm^2$)	m ³	127	
			型枠	(小型)	m ²	13	
			目地材	(t=10mm)	m ²	13	
付帯工				式	1		
		道路施設撤去・復旧工		式	1		
			転落防止柵撤去・設置	m	135		
		既設構造物取壊し工		式	1		
			舗装版切断	(アスファルト、t=15cm以下)	m	19	
			舗装版破砕	(アスファルト)	m ²	60	
			As殻運搬処理		m ³	3	
		舗装復旧工		式	1		
			表層	(再生密粒度, t=30mm, 瀝青材なし)	m ²	53	
			舗装版破砕	(アスファルト、t=15cm以下)	m ²	53	
			As殻運搬処理		m ³	2	
			上層路盤	(RM-30、t=200mm)	m ²	53	
			不陸整正	(t=30mm)	m ²	7	
			表層	(t=5cm, 再生密粒度アスコントP13)	m ²	60	
	仮設工				式	1	
		仮締切工		式	1		
			鋼矢板打込	(Ⅲ型, L=9.0m以下)	枚	697	
			鋼矢板引抜	(Ⅲ型, L=9.0m以下)	枚	697	
			油圧式杭圧入引抜機据付・解体		回	1	水路1-4-1からの移設分
			鋼矢板賃料	(Ⅲ型, L=8.5m)	日	188	1回使用 N=697枚
			大型土のう	(製作・設置)	袋	15	

設計数量総括表

設計書名：仁ノ地区排水路整備工事（その7）
 区 分：新設水路

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	摘 要
		大型土のう	(撤去)	袋	15	
		伐採木等運搬		台	1	
		廃プラスチック		m ³	0.5	
		暗渠排水管	(据付・撤去) (φ500, 波状管)	m	56	
	仮排水工			式	1	
		ポンプ設置・撤去		箇所	1	
		ポンプ運転	(450以上1300未満) (常時排水)	日	149	商用電源
		暗渠排水管	φ150	m	964	
		低圧受電設備		箇所	1	
		低圧配電線路		m	30	
		低圧電動機設備	5回路	面	1	
		ころがし配線		m	10	
	交通管理工			式	1	
		交通誘導警備員	(A)	人	10	
		交通誘導警備員	(B)	人	498	
共通仮設費				式	1	
	運搬費			式	1	
		重建設機械分解組立輸送費		回	1	
		仮設資材運搬	(往復)	t	369.2	鋼矢板
		仮設資材積込取卸し	(往復)	t	369.2	鋼矢板
		仮設資材運搬	(往復)	t	179.7	敷鉄板
		仮設資材積込取卸し	(往復)	t	179.7	敷鉄板
役務費				式	1	
	電力基本料金			式	1	
		基本料金		ヶ月	8	
地質調査費				式	1	
		簡易支持力試験		箇所	4	

位置図



 : 工事場所